

このたびは、マツダ車をお買いあげいただき、ありがとうございます。

本書は、安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、マツダコネクトの正しい取り扱いについて説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

発行元 **マツダ株式会社**
〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地 3-1

- ・ お車をゆずられるときは、次のオーナーのために、本書をお車につけておいてください。
- ・ 仕様変更などにより、本書の内容の一部がお車と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- ・ グレードの仕様により異なる装備については「グレード/仕様別装備」をつけています。
- ・ マツダ販売店で取り付けられた装備品は、付属の取扱説明書をご覧ください。

©2022 マツダ株式会社
発行 2022 年 9 月 (1 版)

本書の見方

安全にお車を使用していただくために守っていただきたいことを、下記の表示で区分して記載しています。これらは重要ですので、必ず読んでお守りください。

警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負う可能性のあるもの

注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負ったりお車の損傷につながったりする可能性のあるもの

知識

- ・ 知っておいていただきたいこと
- ・ 知っておくと便利なこと

イラストで表現している内容の禁止を意味しています。



目次

概要	1
基本機能	2
トラブル	3
さくいん	4

詳細目次

1 概要

マツダコネクトとは? 1-2

マツダコネクトとは?.....1-2

基本操作 1-5

基本操作.....1-5

タッチパネルによる操作.....1-6

コマンダースイッチによる操作.....1-8

オーディオリモートコントロール
スイッチによる操作.....1-10

音声認識機能による操作.....1-12

マツダコネクトをご使用の前に.....1-15

2 基本機能

アプリケーション 2-2

インテリジェント・ドライブ・マ
スター (i-DM).....2-2

燃費モニター.....2-6

車両ステータスマニター.....2-10

Apple CarPlay.....2-13

Android Auto™.....2-20

エンターテイメント 2-25

エンターテイメント.....2-25

ラジオ.....2-38

テレビ.....2-47

Bluetooth®.....2-53

USB.....2-58

CD.....2-67

DVD.....2-73

AUX.....2-85

Aha™.....2-88

Stitcher™ラジオ.....2-92

コミュニケーション 2-97

コミュニケーション.....2-97

Bluetooth®ハンズフリー.....2-98

ナビゲーション 2-121

ナビゲーション.....2-121

設定 2-122

設定変更可能なシステム/装備一

覧.....2-122

安全装備.....2-123

車両装備.....2-126

その他の装備・機能.....2-129

3 トラブル

トラブルシューティング

3-2

トラブルシューティング.....3-2

MEMO

1

概要

マツダコネクトとは?.....	1-2
マツダコネクトとは?.....	1-2

基本操作.....	1-5
基本操作.....	1-5
タッチパネルによる操作.....	1-6
コマンダースイッチによる操 作	1-8

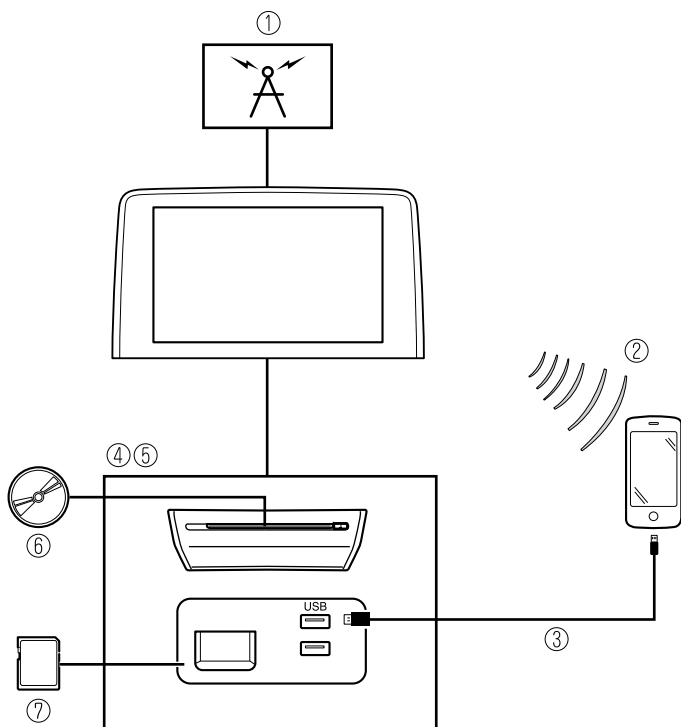
オーディオリモートコントロール スイッチによる操作.....	1-10
音声認識機能による操作.....	1-12
マツダコネクトをご使用の前 に	1-15

マツダコネクトとは?

マツダコネクトに関する情報は、次のマツダコネクトサポートページでもご確認いただくことができます。



<http://infotainment.mazdahandsfree.com/>



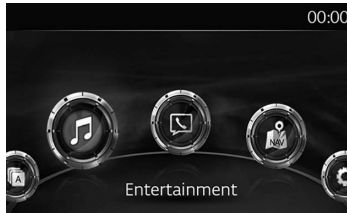
1. ラジオ/テレビ
2. Bluetooth®オーディオ/Bluetooth®ハンズフリー/SMS (Short Message Service)
3. USB オーディオ
4. USB ポート*1/AUX 端子*1/SD カードスロット*2
5. CD/DVD プレイヤー*
6. CD/DVD*
7. SD カード (ナビゲーションシステム)*






*1 USB ポート/AUX 端子の位置は仕様により異なります。

*2 SD カードスロットは、ナビゲーションシステム用です。ナビゲーションシステム用の SD カード (マツダ純正品) を差し込んで使用します。

ホーム画面

ホーム画面



アイコン	説明
	<p>Applications (アプリケーション) 平均燃費、メンテナンス、警告などの情報を確認できます。また、Apple CarPlay や Android Auto™も選択できます。</p>
	<p>Entertainment (エンターテインメント) ラジオや CD/DVD、TV などのオーディオを操作します。最後に使用されたオーディオソースが表示されます。ディスクが抜かれた場合など、その時に使用することができなかったオーディオソースはスキップされ、その前のオーディオソースが表示されます。</p>
	<p>Communication (コミュニケーション) 電話や SMS 機能を使用できます。</p>
	<p>Navigation (ナビゲーション) ナビゲーション画面を表示します (ナビゲーションシステム装備車)。 ナビゲーションシステム用の SD カード (マツダ純正品) が差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。 コンパスは、車両停車時、または低速走行時には、正しい方位を示さない場合があります。</p>
	<p>Settings (設定) 設定メニュー (画面、安全装備、サウンド、通信など) を表示します。</p>

次の操作方法があります。

- ・タッチパネルによる操作
- ・コマンドスウィッチによる操作
- ・オーディオリモートコントロールスイッチによる操作
- ・音声認識機能による操作

警告

オーディオは、車を止めてから操作する。走行中の操作は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

安全運転をさまたげないように、運転中は車外の音が聞こえる程度の音量で使用してください。

知識

- ・ エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ 車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使用すると、ノイズ (雑音) が発生することがありますが故障ではありません。

基本操作

知識

本書に記載されている機能の説明、画面やボタンの文字および形状などは、実際と異なる場合があります。
また、これらのコンテンツは、今後のソフトウェアアップデートに応じて、予告なしに順次変更される可能性があります。

タッチパネルによる操作

⚠ 注意

画面部分を指で強く押したり、先のとがったものなどで触れたりしないでください。画面に傷がついたり、損傷したりするおそれがあります。

📖 知識

安全のため、走行中はタッチパネルの操作をすることができません。

基本的な操作方法

タッチ&タップ

1. 画面に表示されている項目に、指で触れる(タッチする)、または指で軽くたたきます(タップする)。



2. 操作が実行されたり、次の項目が表示されます。

スライド

1. 項目のスライダーバーにタッチします。
2. スライダーを指で押さえながら、設定したい設定値まで移動します。




画面をスクロールする

1. 画面を指で押さえながら、上下に移動します。



2. 表示されていない項目が表示されます。


前の画面にもどる

1.  にタッチします。



2. 前の画面にもどります。

ホーム画面を表示する

1.  にタッチします。

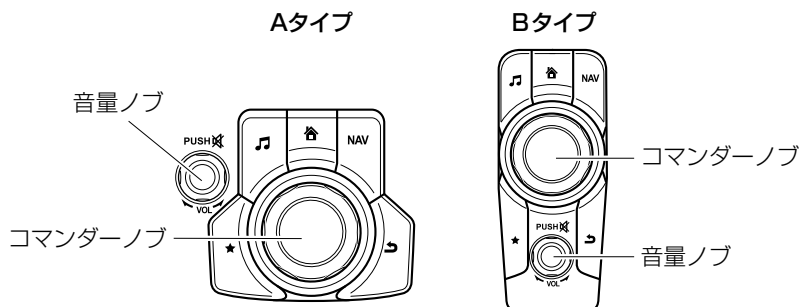


2. ホーム画面が表示されます。

コマンダースイッチによる操作




知識

安全のため、走行中は一部の操作をすることができません。

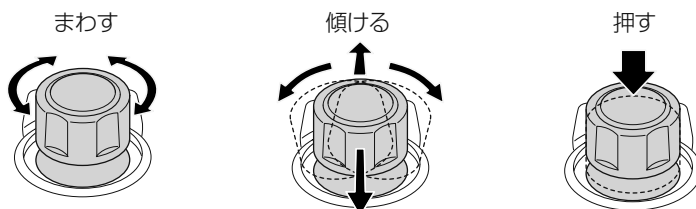


コマンダーノブ周囲のスイッチ

コマンダーノブ周囲のスイッチを押すことで次の操作ができます。

- : ホーム画面を表示します。
- : エンターテインメント画面を表示します。
- NAV**: ナビゲーション画面を表示します (ナビゲーションシステム装備車)。ナビゲーション画面の操作については、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。また、ナビゲーションシステム用のSDカード (マツダ純正品) が差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。
- ★**: お気に入り画面を表示します。長押しすると、お気に入りに登録できます (FM/AM ラジオの放送局、電話帳、ナビゲーションシステムの目的地を登録可能)。
- : 前の画面にもどります。

コマンドーノブの操作



(画面上のアイコンを選択するには)

1. コマンドーノブを傾ける、またはまわして、選択したいアイコンにカーソルを移動させます。
2. コマンドーノブを押して、アイコンを選択します。

📖 知識

機能によっては、コマンドーノブの長押しで操作できます。

音量の調節

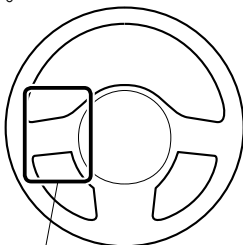
右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと音量が小さくなります。

📖 知識

- ・ 音量ノブを押すと消音し、一時停止します。ただし、FM ラジオなど一時停止できないオーディオソースを再生中の場合は、消音のみとなります。もう一度音量ノブを押すと、もとにもどります。
- ・ オーディオを OFF にしたい場合は、音量をゼロにしてください。

オーディオリモートコントロールスイッチによる操作

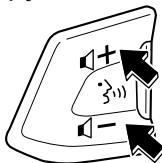
ハンドルの左側にあります。
手でオーディオの操作をすることができます。
スイッチの形状は車種により異なります。



オーディオリモート
コントロールスイッチ

音量を調節するとき

＋、－ ボタンを操作して、音量を調節します。



選局するとき

ラジオを聞いているときに<<<>>>> ボタンを押すと、お気に入りにあらかじめ登録させておいた放送局を呼び出すことができます。<<<>>>> ボタンを押すごとに順次登録された放送局に切り替わります。また、ピッと音がするまで押すと、自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。

テレビを視聴しているときに<<<>>>> ボタンを押すと、チャンネルリストを使って設定された放送局を呼び出すことができます。<<<>>>> ボタンを押すごとに順次設定された放送局に切り替わります。また、ピッと音がするまで押すと、自動選局を始めます。放送を受信すると止まります。



頭出しをするとき

CD、USB、iPod、または Bluetooth®オーディオを聞いているときに **⏮️⏪️⏩️⏭️** ボタンを操作すると、曲の頭出しをすることができます。

次の曲の頭に進めたいときは **⏩️⏭️** ボタンを押し、今聞いている曲の頭にもどしたいときは **⏮️⏪️** ボタンを押します。

DVD を視聴しているときに **⏮️⏪️⏩️⏭️** ボタンを操作すると、チャプターの頭出しをすることができます。

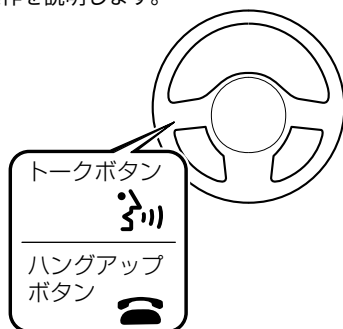
次のチャプターの頭に進めたいときは **⏩️⏭️** ボタンを押し、今視聴しているチャプターの頭にもどしたいときは **⏮️⏪️** ボタンを押します。

Aha™、または Stitcher™ ラジオを聞いているときに **⏩️⏭️** ボタンを押すと、次の曲の頭に進みます。




音声認識機能による操作

この項目では、音声認識の基本操作を説明します。





1. 起動

トークボタンを押します。

2. のあとに発話してください。


発話できるコマンド (音声認識として受け取れることば) は音声認識機能に対応している主な操作をご参照ください。

音声ガイダンスをスキップする

音声ガイダンスが流れているときにトークボタンを押すことで音声ガイダンスをスキップできます。と鳴ったあとに音声コマンドを発話してください。

音声認識を終了する


次の操作のいずれかを行ないます:

- ・ハングアップボタンを押す。
- ・発話: 「キャンセル」
- ・コマンダースイッチ、またはセンターディスプレイ (車両停車時のみ) を操作する。

知識

- ・音声認識実行中に操作方法が分からなくなったときは「チュートリアル」または「ヘルプ」と発話してください。
- ・「もどる」と「キャンセル」は、音声認識実行中に常に使用できるコマンドです。
- ・音声認識実行中に「キャンセル」と発話すると、音声認識モードを終了します。音声認識実行中に「もどる」と発話すると、前の操作にもどります。

音声認識機能に対応している主な操作



トークボタン  を押して、次のコマンドを発話するとオーディオを操作することができます。
 [] 内のコマンドは省略することができます。{} 内には、指定する名前が入ります。
 / で分割されたコマンドはどちらか選択できます。

音声コマンド	説明
ヘルプ	使用可能な音声コマンドを確認できます。
チュートリアル	基本的な音声コマンドと使用方法を確認できます。
自宅 [までナビゲート/まで案内/に帰る/までドライブ]	(ナビゲーションシステム装備車) ナビゲーション画面が表示されているときに発話すると、目的地を自宅に設定します。
{電話帳の連絡先} の {携帯/家/仕事} に電話	Bluetooth® 機器からダウンロードした電話帳の連絡先に電話を発信します。 例: 「マツダ タロウの携帯に電話。」
リダイヤル	最後に電話をかけた相手 (発信履歴の最新の人物) に電話を発信します。
コールバック	最後に電話をかけてきた相手 (着信履歴の最新の人物) に電話を発信します。
{アーティスト名} の曲を再生	接続している USB 機器に保存されている、指定したアーティストの曲を再生します。
Bluetooth (ブルートゥース) [オーディオ] [に移動/[を] 再生]	オーディオソースを Bluetooth® オーディオに切り替えます。 同様に、FM/AM/USB などのコマンドで、各オーディオソースにも切り替えることができます。

知識

- ・表のコマンドは、使用可能なコマンドの一例です。
- ・ナビゲーション画面で使用できる音声コマンドの詳細は、別冊のナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。

音声認識を失敗しないようにするために、次のポイントに注意してください:

- ・ 音声案内中や  と鳴っている間は、音声認識を行なうことができません。音声案内や  と鳴り終わるのを待ってから、音声コマンドを発話してください。
- ・ Bluetooth®で接続されている電話があるときに、電話関連のコマンドが利用可能になります。音声認識で電話を操作する前に電話を Bluetooth®に接続してください。
- ・ 必要以上に大声でしゃべったり、ゆっくりしゃべったりしないでください。
- ・ 機器側の電話帳にふりがな情報が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼び出すことができません。
- ・ 機器側の電話帳の人物を音声認識で呼び出す場合、登録されている名前が長いほど認識率は向上します（「はは」、「いえ」、「つま」などのように短い場合、認識に失敗する場合があります）。
- ・ 単語や数字の間に区切らないように発音してください。
- ・ 指定された音声コマンド以外は、認識することができません。指定された音声コマンドを発話してください。
- ・ マイクの方に向いたり近づいたりする必要はありません。安全運転中の姿勢のまま音声コマンドを発話してください。
- ・ Bluetooth®ハンズフリーを使用するときは、車両の外の雑音やエアコンの気流を乱すのを防ぐために窓とサンルーフを閉めてください。
- ・ エアコンの風がマイクに当たっていないことを確認してください。

マツダコネクトをご使用の前に

Gracenote® データベース

Gracenote, the Gracenote logo and logotype are either a registered trademark or a trademark of Gracenote, Inc. in the United States and/or other countries.

Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。



Gracenote® 音楽認識サービスのご利用について

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。

Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行なうために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote, Inc. 2009

テレビ

注意

- ▶ 本機は、ARIB (電波産業会) 規格に基づいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ▶ 各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- ▶ 本機に搭載されているソフトウェア、またはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったりそれに関与してはいけません。
- ▶ 本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

コンテンツ権利保護専用方式について

本機は、コンテンツ権利保護専用方式 (ソフトウェア方式) を採用しています。そのため、B-CAS カードは不要です。

→2-47 ページ 「テレビ」

Apple CarPlay

注意

- ▶ 適用法によって認められる最大の範囲で Apple Carplay (以下「アプリケーション」) 及びその情報は、瑕疵 (かし) の有無を問わずかつ一切の保証を伴わない「現状有姿」かつ「利用可能な限り」提供され、お客様の責任の下で使用されるものとします。
アプリケーションの商品性、満足すべき品質、特定目的への適合性、正確性、平穏享有、第三者の権利の非侵害性に関する明示的、黙示的または法的な保証を含め、マツダは一切の保証はしません。適用法により禁止されない限り、アプリケーションとその使用または使用不能に起因/関連する、人身傷害または付随、特別、間接もしくは派生損害等について、いかなる場合もマツダおよびマツダ関連会社は一切の責任を負いません。
なお、当該損害等には以下のものを含まず。
- ▶ 逸失利益
- ▶ データの破損または損失
- ▶ 事業の中断またはその他のいかなる商業的損害もしくは損失等
- ▶ Apple CarPlay を使用するときは、運転に集中して周囲の状況を十分に確認し、運転者の責任において Apple CarPlay を使用してください。

知識

- ・ Apple CarPlay は Apple 社によって提供されています。使用するには Apple iOS 利用規約および Apple CarPlay 利用規約に同意していることを条件としています。
- ・ Apple CarPlay 使用中は、場所や速度などの車両データが iPhone に転送されます。詳しくは Apple プライバシーポリシーを参照ください。

Android Auto™

注意

- 適用法によって認められる最大の範囲で Android Auto™ (以下「アプリケーション」) 及びその情報は、瑕疵 (かし) の有無を問わずかつ一切の保証を伴わない「現状有姿」かつ「利用可能な限り」提供され、お客様の責任の下で使用されるものとします。
アプリケーションの商品性、満足すべき品質、特定目的への適合性、正確性、平穩享有、第三者の権利の非侵害性に関する明示的、黙示的または法的な保証を含め、マツダは一切の保証はしません。適用法により禁止されない限り、アプリケーションとその使用または使用不能に起因/関連する、人身傷害または付随、特別、間接もしくは派生損害等について、いかなる場合もマツダおよびマツダ関連会社は一切の責任を負いません。
なお、当該損害等には以下のものを含みます。
 - 逸失利益
 - データの破損または損失
 - 事業の中断またはその他のいかなる商業的損害もしくは損失等
- Android Auto™を使用するときは、運転に集中して周囲の状況を十分に確認し、運転者の責任において Android Auto™を使用してください。

知識

- ・ Android Auto™は Google 社によって提供されています。使用するには Android Auto™利用規約に同意していることを条件としています。
- ・ Android Auto™使用中は、場所や速度などの車両データが Android™スマートフォンに転送されます。詳しくは Google プライバシーポリシーを参照ください。

商標について

本書に記載されている商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

- ・ Aha™、Aha™ロゴおよび Aha™トレードドレスは Harman International Industries, Inc.の商標、または登録商標です。
- ・ AUDIOPILOT、Centerpoint はボーズコーポレーションの登録商標です。
- ・ Bluetooth®は米国 Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- ・ Gracenote, the Gracenote logo and logotype are either a registered trademark or a trademark of Gracenote, Inc. in the United States and/or other countries.
Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc.の登録商標または商標です。
- ・ iPhone、iPod、Siri および Apple Music は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。
- ・ Apple CarPlay は、Apple Inc.の商標です。
- ・ IOS は、米国および他の国々における商標または Cisco の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・ iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ・ Google、Android、Android Auto™、およびその他のマークは Google LLC. の商標です。
- ・ Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Stitcher™、Stitcher™ ロゴおよび Stitcher™トレードドレスは Stitcher, Inc.の商標、または登録商標です。

2

基本機能

アプリケーション.....2-2	Aha™..... 2-88
インテリジェント・ドライブ・マ スター (i-DM)..... 2-2	Stitcher™ラジオ..... 2-92
燃費モニター.....2-6	コミュニケーション.....2-97
車両ステータスマニター.....2-10	コミュニケーション..... 2-97
Apple CarPlay.....2-13	Bluetooth®ハンズフリー.....2-98
Android Auto™.....2-20	ナビゲーション..... 2-121
エンターテイメント.....2-25	ナビゲーション..... 2-121
エンターテイメント.....2-25	設定..... 2-122
ラジオ..... 2-38	設定変更可能なシステム/装備 一覧.....2-122
テレビ..... 2-47	安全装備..... 2-123
Bluetooth®..... 2-53	車両装備..... 2-126
USB..... 2-58	その他の装備・機能..... 2-129
CD..... 2-67	
DVD..... 2-73	
AUX..... 2-85	

インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)


i-DM はマツダ車の「走る喜び」と「優れた環境安全性能」を十分に実感していただくためのドライビングサポートシステムです。乗員全員が車両との一体感を感じながら爽快なドライブを楽しめるようになる運転技量の習得/向上をサポートします。

i-DM 表示

運転の評価をスコア(点数)で表示します。スコアに応じてステージが決まります。ステージは 1st ステージから 3rd ステージまであり、ステージが上がるとスコアの診断が厳しくなります。運転技量が上がリ、現在のステージでアベレージスコアを高く保てるようになると、次のステージへ上がります。逆に、低いアベレージスコアが続くとステージが下がります。ステージの上限を 5th ステージに変更できます。また、これまでの走行履歴をリセットして 1st ステージに戻すことができます。詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。

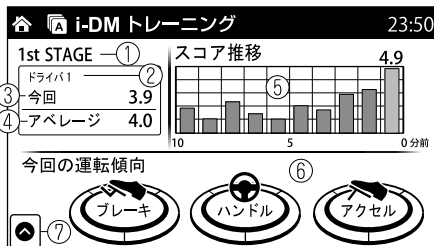
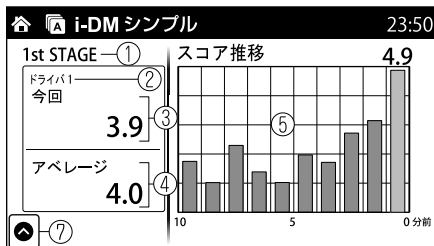
i-DM の情報をセンターディスプレイに表示します。


表示にはシンプルモードとトレーニングモードの 2 種類あります。

1. ホーム画面の  アイコンを選択しアプリケーション画面を表示します。
2. i-DM を選択します。

(シンプルモード)

(トレーニングモード)



- ① 現在のステージを表示します。
- ② ドライバ名を表示します。
ドライバー名の登録/選択については、ドライバー選択を参照してください。
- ③ 今回のスコアを表示します。
- ④ アベレージスコアを表示します。
- ⑤ スコアの推移を棒グラフで表示します。各グラフは 1 分間のスコアを示し、過去 10 分間の記録を表示します。最新のグラフは右側にハイライト表示されます。信号待ちや一定速走行など運転操作が無かった場合はゼロのグラフが表示されます。
- ⑥ 今回の運転操作傾向を表示します。ブレーキ、ハンドル、アクセルの操作それぞれを表示します。白のゲージはやや急な運転の多さを示し、青のゲージはしなやかな運転の多さを示します。
- ⑦  アイコンを選択すると画面下部に次のメニュー画面が表示されます。

表示	内容
	<p>①メニュー画面を閉じます。</p> <p>②アプリケーション画面にもどります。</p> <p>③トレーニング/シンプル画面を切り替えることができます。</p> <p>④設定画面に進みます。</p>

設定画面

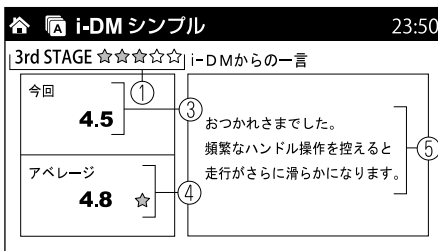
次の表示/非表示の切り替えができます。

- ・エンディング表示
- ・i-DM ランプ

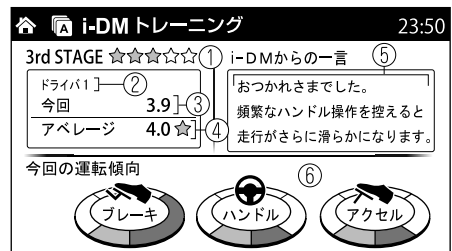
エンディング表示

i-DM のエンディング表示が ON の場合は、電源ポジションを ON から OFF にしたとき、現在のステージ、今回のスコア（現在の評価値）とアベレージスコア（過去 10 回のスコアの平均値）などを表示します。また今回のスコアに応じて、文字によるワンポイントアドバイスも表示します。（ティーチング機能）

（シンプルモード）



（トレーニングモード）



- ① 現在のステージを表示します。★マークはアベレージスコア 4.8 以上を連続して獲得した回数を表示しています。アベレージスコア 4.8 以上を 5 回連続で獲得すると★マークが 5 個になり次のステージへ上がります。
- ② ドライバ名を表示します。
- ③ 今回のスコアを表示します。
- ④ アベレージスコアを表示します。
- ⑤ 運転評価メッセージと、ワンポイントアドバイスを表示します。
- ⑥ 現在の運転傾向を表示します。ブレーキ、ハンドル、アクセルの操作それぞれを表示します。

📖 知識


燃費モニターと i-DM のエンディング表示を両方 ON にしているときは、両方のエンディングが表示されます。

ドライバ選択

車両にドライバ名を 5 名分登録することができます。登録したドライバ名は i-DM で使用でき、ステータス/スコア情報などをドライバ名ごとに管理できます。

📖 知識

安全のため、走行中は一部の操作をすることができません。

1. ホーム画面の  アイコンを選択しアプリケーション画面を表示します。
2. 「ドライバ選択」を選択します。
3. 「ドライバ選択」を選択すると、次の画面が表示されます。



①ドライバ選択 ON/OFF 切り替え

ドライバ選択機能の ON/OFF を切り替えます。
ON のとき、ドライバの選択やドライバ名の編集ができます。OFF にすると、「ドライバ選択なし」が自動で選択されます。

②ドライバ名リスト (1~5)

ドライバ名 (未登録の場合はドライバ番号) を 5 つ表示します。選択中のドライバ名にはチェックマークが表示されます。
エンジン始動後、登録されたキーごとにドライバ名が自動で選択されます。ドライバ情報を変更したい場合は、該当するドライバ名を選択します。

📖 知識

選択されたドライバ名で、i-DM を表示し更新されます。

③ドライバ選択なし

ドライバの識別が出来ないとき、またはドライバ選択機能が OFF のときは、「ドライバ選択なし」として表示されます。

④ドライバ名編集

選択されているドライバ名の編集/登録画面へ移動します。



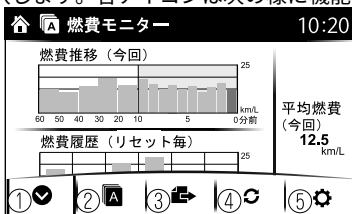
知識

既に登録されているドライバ名と同一のドライバ名は登録できません。

燃費モニター

センターディスプレイ内の各アイコンを操作することにより i-stop/i-ELOOP/気筒休止状態表示、燃費情報、i-stop 効果を切り替え表示します。また、運転終了後、エンディング表示が ON のときは、今回の運転のエネルギー効率実績などを表示します。

1. ホーム画面の アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. 燃費モニターを選択します。
3. 画面左下の アイコンを選択して、メニューを表示します。
4. メニュー内のアイコンを選択します。各アイコンは次の様に機能します。



- ① メニュー表示を閉じます。
- ② アプリケーション画面にもどります。
- ③ 燃費モニターの表示を、i-stop/i-ELOOP 気筒休止状態表示、i-stop 効果表示、燃費情報の順に切り替えます。
- ④ 燃費データをリセットします。
- ⑤ 次のセッティング画面を表示します。
 - ・エンディング表示の ON/OFF 切り替え
 - ・燃費データのリセットをトリップメーター (TRIP A) と同期 (連動) させる機能の ON/OFF 切り替え*

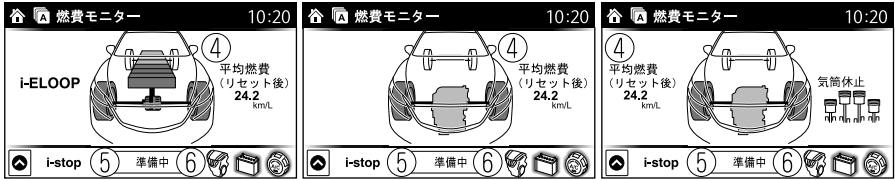
▼ i-stop/i-ELOOP/気筒休止状態表示

i-stop の作動状況、i-ELOOP のエネルギー回生状況、および気筒休止機能の作動状況を表示します。




- ① 減速エネルギーを利用して発電した電気の量と、発電した電気が蓄電器に流れている状態を表示します。表示は発電量が増えると太くなります。
- ② 蓄電器に蓄えている電気の量を表示します。

③ 蓄電器に蓄えられた電気を電装品に供給している状態を表示します。(車全体が同時に発光します。)



④ 平均燃費を表示します。

- ・トリップメーター (TRIP A) に表示される平均燃費と同期 (連動) しています。
- ・リセットするには、メニューの  アイコンを押します。(同時にトリップメーター (TRIP A) に表示される平均燃費と TRIP A もリセットされます。)

⑤ アイドリングストップが可能なかどうかの準備状況を表示します。

⑥ アイドリングストップ準備状況をアイコン (エンジン、バッテリーおよびエアコン) の色で表示します。準備ができたアイコンは発光します。発光していないアイコンは準備ができていないことを知らせます。



⑦ 各気筒の状態を色によって表示します。作動している気筒は赤色で表示されます。

⑧ 車両停止時のアイドリングストップ状態を表示します。

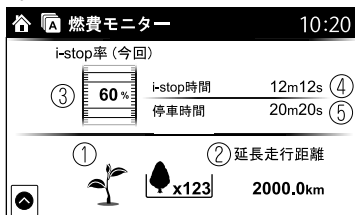
⑨ アイドリングストップしていないとき、アイドリングストップするために必要な運転者の操作を表示します。

⑩ アイドリングストップ中、現在のアイドリングストップ時間と累積のアイドリングストップ時間を表示します。

⑪ アイドリングストップの作動状況をエンジン部分の色で表示します。アイドリングストップ中は青色、アイドリングストップしていないときは灰色で表示します。

▼ i-stop 効果表示

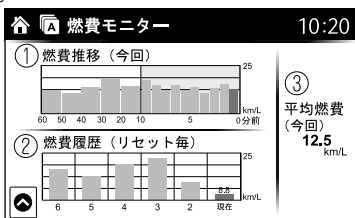
エネルギー効率実績を表示します。



- ① システムの効果により削減された二酸化炭素 (CO₂) 排出量に応じてリーフ (葉) が成長します。成長したリーフは累計され、本数を表示します。
- ② アイドリングストップで延ばすことが出来た全走行距離を表示します。
- ③ 全停車時間のうち、アイドリングストップの割合を表示します。
- ④ アイドリングストップした時間を表示します。
- ⑤ 全停車時間を表示します。


▼ 燃費情報

燃費に関する情報を表示します。



- ① 過去 60 分間の燃費を表示します。
 - ・ 過去 1～10 分間は、1 分間毎の燃費を表示します。
 - ・ 過去 10～60 分間は、10 分間毎の燃費を表示します。
- ② 過去 5 回分のリセット時の平均燃費とリセット後 (現在) の平均燃費を表示します。
- ③ 走行開始後の平均燃費を 1 分間毎に算出して表示します。

📖 知識

- ・ 燃費データは、トリップメーター (TRIP A) に表示される平均燃費と同期 (連動) しています。
- ・ 燃費データをリセットするには、メニューの  アイコンを押します。(同時にトリップメーター (TRIP A) に表示される平均燃費と TRIP A もリセットされます。)
- ・ 燃費データリセット後、平均燃費算出中は“—”が表示されます。

▼ エンディング表示

燃費モニターのエンディング表示が ON の場合は、電源ポジションを ON から OFF にしたとき、エネルギー効率実績 (i-stop 装備車)、燃費に関する情報 (i-stop 非装備車) を表示します。

知識

燃費モニターと i-DM のエンディング表示を両方 ON にしているときは、両方のエンディングが表示されます。

▼ 燃費データのリセットとトリップメーター (TRIP A) の同期 (連動)*

メーターの平均燃費とセンターディスプレイの平均燃費 (リセット後) は連動しており、一方をリセットするともう一方もリセットされます。

また、トリップメーター (TRIP A) をリセットしたときに、メーターの平均燃費とセンターディスプレイの平均燃費 (リセット後) も同期 (連動) してリセットする/しないの設定を変更することができます。

リセット操作する項目	同期 (連動) してリセットされる情報		
	トリップメーター (TRIP A)	メーターの平均燃費	センターディスプレイの平均燃費 (リセット後)
トリップメーター (TRIP A)	○	○/—*1	○/—*1
メーターの平均燃費	—	○	○
センターディスプレイの平均燃費 (リセット後)	—	○	○

○: リセットされる

—: リセットされない


*1 設定を変更できます。

→2-129 ページ「その他の装備・機能」

車両ステータスマニター

ウォーニング

確認方法

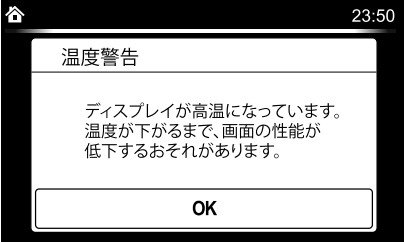

1. ホーム画面の  アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. 車両ステータスを選択します。
3. ウォーニングを選択します。
4. 該当する警告を選択して、詳細を確認します。

ただちに安全な場所に停車する

次のメッセージが表示されたときはシステムの故障のおそれがあります。安全な場所に停車しマツダ販売店に連絡してください。

表示	表示条件
 この画像は、車両のディスプレイに「ウォーニング」画面が表示されている様子です。画面の上部には「ウォーニング」というタイトルがあり、その下に「充電システム異常」という警告メッセージが表示されています。メッセージの内容は「ただちに安全な場所に停車してください。」です。画面の下部には「OK」というボタンがあります。背景には「23:50」という時刻と「家」のアイコンが確認できます。	充電装置に異常があると表示します。
 この画像は、車両のディスプレイに「ウォーニング」画面が表示されている様子です。画面の上部には「ウォーニング」というタイトルがあり、その下に「エンジン水温上昇」という警告メッセージが表示されています。メッセージの内容は「ただちに安全な場所に停車してください。」です。画面の下部には「OK」というボタンがあります。背景には「23:50」という時刻と「家」のアイコンが確認できます。	エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに表示します。

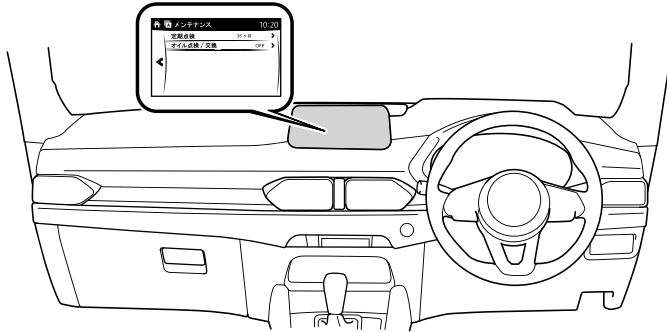
表示内容を確認する
次のときに表示します。

表示	表示条件/処置方法
	<p>センターディスプレイ周辺温度が高温状態となっているときに表示します。 車室内の温度を下げる、直射日光を避けるなどセンターディスプレイ周辺温度を下げることをおすすめします。</p> <p> 知識</p> <p>温度警告は、センターディスプレイ周辺温度が高温状態となると表示されますが、ウォーニング画面には表示されません。</p>

メンテナンス

あらかじめ設定されたメンテナンス時期になるとセンターディスプレイにお知らせを表示することができます。


(表示例)



次の項目のメンテナンス時期を設定できます。

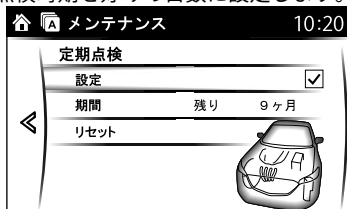
- ・ 定期点検
- ・ オイル点検/交換

設定方法

1. ホーム画面の  アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. 車両ステータスを選択します。
3. メンテナンスを選択します。
4. 設定したい項目を選択します。OFFを選択すると非表示になります。項目により設定できる内容が異なります。

定期点検のとき

定期点検選択後、設定を選択し、点検時期を好みの日数に設定します。




オイル点検/交換のとき

オイル点検/交換選択後、設定を選択し、交換距離を好みの距離に設定します。



リセット方法

メンテナンスを実施した後、リセット (再設定) をすれば、次回メンテナンス時期が近づいたときに表示させることができます。次の手順でリセットしてください。

1. ホーム画面の  アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. 車両ステータスを選択します。
3. メンテナンスを選択します。
4. 設定したい項目を選択し、リセットを選択します。

知識

(SKYACTIV-G 2.5T, SKYACTIV-D 1.5, SKYACTIV-D 1.8, SKYACTIV-D 2.2)

オイル交換後は、マツダ販売店などの整備工場、またはお客様自身で記憶値の初期化 (オイルデータリセット) を行なってください。記憶値を初期化しなかった場合、レンチ表示灯またはオイル警告灯が点灯することがあります。

詳細は、オーナーズマニュアル取扱書の「エンジンオイルの点検、補充」をご確認ください。

Apple CarPlay

Apple CarPlay は車両のオーディオで iPhone を操作して、通話、メッセージの送受信や、音楽を聴いたり、マップで目的地を調べることができます。また、Siri による音声操作が可能です。

⚠ 警告

USB 端子に接続したコードが、セレクトレバー (オートマチック車)、チェンジレバー (マニュアル車) に絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ▶ プラグを接続した状態で、USB 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- ▶ 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります (ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください)。
- ▶ iPhone を車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。

📖 知識

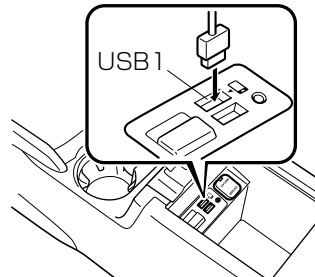
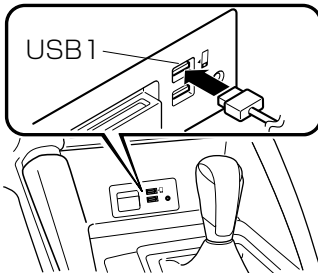
- ・ ご使用前に、iPhone の取扱説明書をよくお読みください。
- ・ エンジン を止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- ・ プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。

iPhone を接続する

Apple CarPlay がワイヤレス接続非対応の場合*

📱 の印字がある USB 端子 (USB1) に Apple 純正の接続コードを差し込み、iPhone を接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。

Aタイプ
(インストルメントパネル取り付けタイプ)
Bタイプ
(コンソールボックス取り付けタイプ)



USB 端子の位置は車種により異なります。

📖 知識

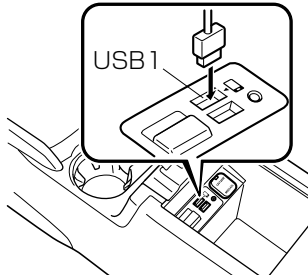
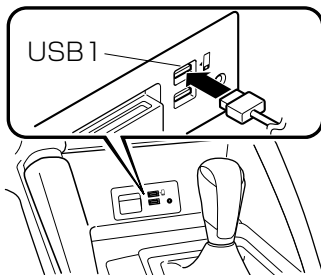
- Bluetooth®接続中の iPhone を車両の USB 端子に接続すると、Apple CarPlay に切り替わります。Bluetooth®接続で使用していたアプリケーションは継続して使用することができます。ただし、Bluetooth®接続で使える機能と Apple CarPlay で利用できる機能はアプリケーションによって異なります。
- 📱の印字がない USB 端子に iPhone を接続すると、システムは USB モードで作動します。

Apple CarPlay がワイヤレス接続対応の場合*

(USB 接続の場合)

📱の印字がある USB 端子 (USB1) に Apple 純正の接続コードを差し込み、iPhone を接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。

Aタイプ (インストルメントパネル取り付けタイプ) Bタイプ (コンソールボックス取り付けタイプ)



USB 端子の位置は車種により異なります。

📖 知識

- Bluetooth®接続中の iPhone を車両の USB 端子に接続すると、Apple CarPlay に切り替わります。Bluetooth®接続で使用していたアプリケーションは継続して使用することができます。ただし、Bluetooth®接続で使える機能と Apple CarPlay で利用できる機能はアプリケーションによって異なります。
- 📱の印字がない USB 端子に iPhone を接続すると、システムは USB モードで作動します。
- iPhone の接続状態によっては、ワイヤレス接続される可能性があります。Apple CarPlay USB 接続のみで使用する場合は、オーディオユニットの Wi-Fi™設定を OFF にする、あるいは、iPhone の Wi-Fi™設定を OFF にしてください。

(ワイヤレス接続の場合)

iPhoneとマツダコネクトをBluetooth®とWi-Fi™を使って接続することで、Apple CarPlayをワイヤレスで使用できます。

📖 知識

- ・ワイヤレス接続とUSB接続とでApple CarPlayの機能の差はありません。
- ・ワイヤレス接続しているiPhoneをUSBポートに接続すると、充電が行なわれます。

機器の登録

下記の3つの方法で機器の登録ができます。

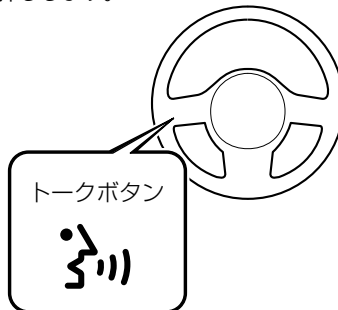
- ・トークボタン長押し
- ・オーディオユニット操作
- ・USB接続による登録

📖 知識

- ・Wi-Fi™モードでApple CarPlayが選択されていない場合、Wi-Fi™をApple CarPlayモードにするダイアログが表示されますので、**[OK]**を選択してください。
- ・Bluetooth®がOFFのときは、Bluetooth®をONにするダイアログが表示されますので、**[OK]**を選択してください。
- ・Bluetooth®対応機器は、7台まで登録できます。7台を超えて登録しようとすると、登録が古い機器から削除されます。


(トークボタン長押しによる登録)

1. トークボタンを約4秒間、長押しします。




2. iPhoneをBluetooth®ユニットに登録します。
3. Apple CarPlayの接続を許可します。
4. iPhoneがApple CarPlay機器一覧に表示されます。

(オーディオユニットによる登録)


1. ホーム画面の  アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. **Apple CarPlay** を選択します。
3. **新規機器の登録** を選択します。
4. iPhoneをBluetooth®ユニットに登録します。

5. Apple CarPlay の接続を許可します。
6. iPhone が Apple CarPlay 機器一覧に表示されます。


(USB 接続による登録)

1.  の印字がある USB 端子 (USB1) に Apple 純正の接続コードを差し込み、iPhone を接続します。
2. Apple CarPlay の接続を許可します。
3. iPhone を操作して、「ロック中に CarPlay を許可」を ON にします。
4. iPhone を操作して、「Mazda でワイヤレス CarPlay を使用」を ON にします。
5. iPhone が Apple CarPlay 機器一覧に表示されます。

(機器の選択)

1. ホーム画面の  アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. **Apple CarPlay** を選択します。
3. 接続したい iPhone の名前を選択します。
4. (**Apple CarPlay有効** が無効になっている場合) **Apple CarPlay有効** を有効にします。
5. **接続** を選択します。
6. Apple CarPlay 画面から **Apple CarPlay表示** を選択します。

(機器の削除)




1. ホーム画面の  アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. **Apple CarPlay** を選択します。
3. 削除する iPhone の名前を選択します。
4. **この機器を削除** を選択します。

 知識

- ・ Apple CarPlay 機器一覧から削除した iPhone は、Bluetooth® の登録機器からも削除されます。同様に、Bluetooth® の登録機器から削除した iPhone は、Apple CarPlay 機器一覧からも削除されます。
- ・ Apple CarPlay 機器一覧、あるいは Bluetooth® の登録機器から iPhone を削除した場合、iPhone 側の Apple CarPlay 設定と Bluetooth® 設定からデバイス「Mazda」を削除してください。

Apple CarPlay ホーム画面を表示する

以下いずれかの方法で、Apple CarPlay ホーム画面を表示します。

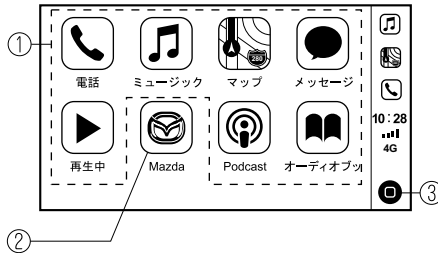
- ・ホーム画面の  を選択する。
- ・コマンダースイッチの  を長押しする。
- ・ホーム画面の  を選択し、アプリケーション画面から **Apple CarPlay** を選択する。

Apple CarPlay がワイヤレス接続対応の場合は、Apple CarPlay 画面から

Apple CarPlay 表示

を選択する。

Apple CarPlay ホーム画面







知識

- ・ Apple CarPlay モードホーム画面に表示されるアイコンやアイコンの表示位置は、接続した iPhone や iOS のバージョンにより異なる場合があります。

No	アイコン	説明
①	接続した iPhone のアイコン	Apple CarPlay のアプリケーションを起動します。各アプリケーションの使用方法は、各アプリケーションのヘルプなどを参照してください。
②		マツダコネクットのホーム画面を表示します。
③		Apple CarPlay ホーム画面を表示します。

Apple CarPlay の便利な使い方

項目	操作方法
音声認識機能 (Siri) を起動する*1	以下のどちらかの方法で Siri を起動し、音声で Apple CarPlay を操作できます。 <ul style="list-style-type: none">・オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン  を押す。・  を長押しする。
NowPlaying 画面を表示する	Apple CarPlay で音楽再生中かつ NowPlaying 画面以外の画面を表示しているときに、コマンダースイッチの  を押すと NowPlaying 画面が表示されます。
MAP 画面を表示する	Apple CarPlay でマップのルート案内使用中かつマップ画面以外の画面を表示しているときに、コマンダースイッチの NAV を押すとマップ画面が表示できます。
マツダコネクットのホーム画面に戻る	コマンダースイッチの  を長押しする。

*1 Apple CarPlay 接続中はマツダコネクットの音声認識機能は使用できません。

Apple CarPlay を終了する

知識

- ・ Apple CarPlay で音楽を再生中に Apple CarPlay を終了すると、音源が選択されていない状態になり、車両のオーディオ機器が無音になります。

Apple CarPlay がワイヤレス接続非対応の場合*

Apple CarPlay モードを終了するには、USB 端子から接続コードを抜くか、接続コードから iPhone を抜いてください。


Apple CarPlay がワイヤレス接続対応の場合*

(USB 接続の場合)

操作方法 1


Apple CarPlay モードを終了するには、USB 端子から接続コードを抜くか、接続コードから iPhone を抜いてください。

操作方法 2

1. ホーム画面の  アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. **Apple CarPlay** を選択します。
3. 現在接続されている iPhone の名前を選択します。
4. **Apple CarPlay有効** を無効にします。

(ワイヤレス接続の場合)

操作方法 1


1. ホーム画面の  アイコンを選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. **Apple CarPlay** を選択します。
3. 現在接続されている iPhone の名前を選択します。
4. **Apple CarPlay有効** を無効にします。



知識

- ・次回接続する場合は、**Apple CarPlay有効** を有効にしないと接続できません。
- ・以下の方法で、Apple CarPlay を終了することもできます。

操作方法 2

1. ホーム画面の  アイコンを選択して、設定画面を表示します。
2. **通信** タブを選択します。
3. **Wi-Fi** を選択します。
4. Wi-Fi™の設定を OFF にします。

(iPhone による操作)

次の 2 通りの方法で操作します。

- ・設定メニュー→Bluetooth→デバイス「Mazda」を選択し、Apple CarPlay を OFF にします。
- ・設定メニュー→一般→Apple CarPlay→デバイス「Mazda」を選択し、Apple CarPlay を OFF にします。

Android Auto™

Android Auto™とは、車両のオーディオで Android™ スマートフォンを操作できるアプリケーションです。電話、メッセージ、音楽、マップなど Android Auto™対応のコンテンツを車両のオーディオで使用できます。

警告

USB 端子に接続したコードが、セレクトレバー (オートマチック車)、チェンジレバー (マニュアル車)に絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- ▶ プラグを接続した状態で、USB 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- ▶ 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります (ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください)。
- ▶ Android™ スマートフォンを車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。

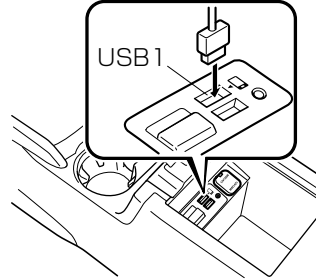
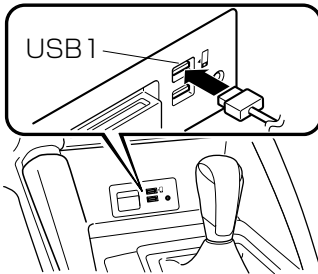
知識

- ・ ご使用前に、Android™ スマートフォンの取扱説明書をよくお読みください。
- ・ エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- ・ プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。

Android™スマートフォンを接続する

📱の印字がある USB 端子 (USB1) に Android™ スマートフォン純正の接続コードを差し込み、Android™ スマートフォンを接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。

Aタイプ (インストルメントパネル取り付けタイプ) Bタイプ (コンソールボックス取り付けタイプ)






USB 端子の位置は車種により異なります。

📖 知識

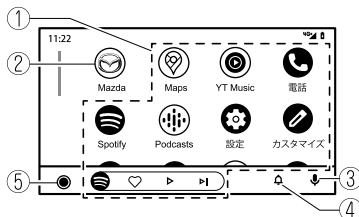
- ・ Bluetooth®接続中の Android™ スマートフォンを車両の USB 端子に接続すると、Bluetooth®は Android Auto™で利用され、システムが Android Auto™モードに切り替わります。
- ・ 📱の印字がない USB 端子に Android™ スマートフォンを接続すると、システムは USB モードで作動します。

Android Auto™画面を表示する

次のいずれかの方法で、Android Auto™画面をセンターディスプレイに表示できます。



- ・ホーム画面の  を選択し、アプリケーション画面から **Android Auto** を選択する。
- ・ホーム画面の  を選択する。
- ・コマンダースイッチの  を長押しする。

Android Auto™画面



知識

- ・ Android Auto™のホーム画面に表示されるメディアは、接続した Android™スマートフォンの使用状態やバージョンにより異なる場合があります。

No.	アイコン	説明
1	—	各アプリケーションの情報を表示します。起動しているアプリケーションやその状態により表示される内容は異なります。
2		マツダコネクトの画面にもどります。
3		Android Auto™の音声認識を起動します。
4		Android™スマートフォンからの通知を表示します。
5		Android Auto™ のホーム画面を表示します。

Android Auto™モードの便利な使いかた

項目	操作方法
音声で操作する*1	次のいずれかの方法で音声認識モードが起動し、音声にて Android Auto™を操作できます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ “OK Google” と発話する ・ Android Auto™画面の  アイコンを選択する ・ オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン  を押す。
NowPlaying 画面を表示する	Android Auto™で音楽再生中かつ NowPlaying 画面以外の画面を表示しているとき、コマンドースイッチの  を押すと NowPlaying 画面が表示できます。
MAP 画面を表示する	Android Auto™でマップのルート案内使用中かつ マップ画面以外の画面を表示しているとき、コマンドースイッチの NAV を押すと Android Auto™のマップ画面が表示できます。
マツダコネクットの画面に戻る	コマンドースイッチの  を長押しする。

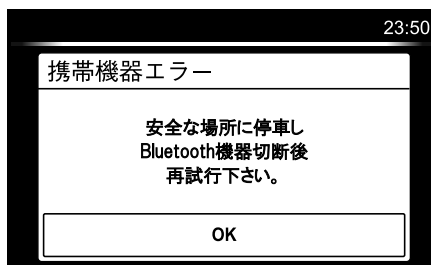
*1 Android Auto™接続中はマツダコネクットの音声認識機能は使用できません。

Android Auto™を終了する

Android Auto™を終了するには、USB 端子から Android™純正の接続コードをはずすか、接続コードから Android™スマートフォンをはずしてください。

Android Auto™接続ができないときは

“携帯機器エラー” のメッセージが表示され Android Auto™接続ができないとき



接続しようとしている Android™スマートフォンが Android Auto™に対応していることを確認してください。

Android™スマートフォンを接続コードに接続し直す前に、再度機器のペアリングを行ってください。

Android Auto™が起動できないとき

Android™スマートフォンによっては接続コードで接続したときに充電のみのモードで接続されるものがあります。

その場合は、一度 Android Auto™接続の設定を OFF にしファイル転送モードで接続した上で、再度 Android Auto™接続を ON に切り替えてください。

Android Auto™ 接続の設定変更は Settings 画面の通信タブ内で行なえます。

→2-129 ページ「その他の装備・機能」

エンターテイメント

ラジオについて

ラジオの受信は、車両の移動に伴いアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

- ・ 本機は AM 放送の FM 補完中継放送 (ワイド FM) に対応しています。
- ・ 本機で受信可能な周波数帯域は次の通りです。
FM 放送波 76.0 ~ 99.0MHz
AM 放送波 522 ~ 1629kHz

→2-38 ページ「ラジオ」

テレビについて

テレビの受信は、車両の移動に伴いアンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

- ・ 本機には、The FreeType Project LICENSE (<http://www.freetype.org/license.html>) の適用を受けるソフトウェア freetype (<http://www.freetype.org/>) が組み込まれています。
- ・ This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)
(本機には、OpenSSL プロジェクト (<http://www.openssl.org/>) によって開発されたソフトウェア OpenSSL Toolkit が含まれています)
- ・ 本機は、Desay SV Automotive Japan 株式会社で製造されたものです。

地上デジタルテレビ放送について



- ・ 地上デジタルテレビ放送は、大きく分けて 3 種類のサービスがあります。
 - ・ テレビ放送: 従来のテレビ放送
 - ・ ラジオ放送: 音声を主とした放送
 - ・ データ放送: 現所在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの放送
※本機では、テレビ放送のサービスを受けることができます (データ放送とラジオ放送には、対応していません)。
- ・ 受信モードをお車の状況にあわせて切り替えることで、受信状態を安定させることができます。
※自動でワンセグ・フルセグ (SDTV) の切り替えを行なうか、行なわないかは、設定により変更することができます。
- ・ 本機は、ハイビジョン放送の再生には対応していません。ハイビジョン放送は、標準画質 (SDTV) で再生します。







- ・地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして「ワンセグ」があります。



- ・日本の地上デジタルテレビ放送は、約 6MHz の帯域を 13 個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち 12 セグメントを使って高画質・高音質の放送を行なっています。ワンセグ放送は、残り 1 セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。
※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、12 セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは 12 セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。

CD について

本機で使用できるメディア、再生可能なデータは次の通りです。
次のマークが記載されたディスクが使用可能です。

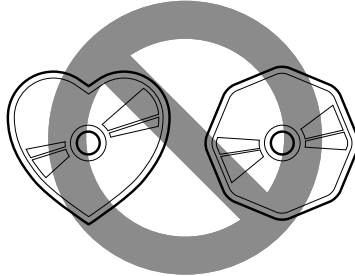
市販ディスク		
記録されたディスク		
		

MP3/WMA/AAC CD として、ディスクに記録し再生可能なデータは次の通りです。
MP3、WMA、AAC

知識

- ・一枚のディスクに音楽データ (CD-DA) と MP3/WMA/AAC ファイルが混在しているときは、ディスクに記録する方法によって再生される内容が異なります。
- ・データ規格の詳細については、「再生可能なオーディオファイルについて」をご参照ください。

- ・コピーコントロール CD (著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽 CD) の中で、CD の規格に準拠していないものは、再生できない場合があります。
- ・ハート型や八角形など特殊形状の CD は使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。





- ・悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びを起こすことがあります。
- ・本機内部のレンズの汚れなどにより、CD が正しく作動しなくなることがあります。
- ・寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露 (水滴) が生じ、正しく作動しなくなることがあります。このようなときは、CD を取り出して室内を換気、または除湿してから使用してください。
- ・CD 信号面に直接手で触れると、CD の信号面が汚れ、音飛びなどを起こすことがあります。CD の端と中心の穴をはさんで持ってください。CD はケースに入れ、直射日光を避けて保管してください。直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- ・CD の汚れを取るときは、やわらかい布で CD の中央から外側へ向けて汚れをふき取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤などを使用すると、CD の表面を傷める原因になりますので使用しないでください。
- ・文字を書き込んだり、ラベルやシールを貼り付けたりした CD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・変形したり、ひびがはいったりした CD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・セロハンテープやレンタル CD のラベルからのりがはみ出したものや、ラベルをはがしたあとがある CD は、使用しないでください。また、市販の CD-R ラベルを貼り付けたディスクも使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・CD 差し込み口に指や異物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
- ・CD-R/CD-RW は、録音に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ・ファイナライズ処理 (通常の CD プレーヤーで再生できるようにする処理) されていない CD-R/CD-RW は再生できません。
- ・700MB を超える CD-R/CD-RW の再生はできません。
- ・音楽用 CD レコーダー、またはパソコンで記録した CD-R/CD-RW は、ディスクの特性、キズ・汚れなどにより、本機では再生できない場合があります。
- ・パソコンで記録したディスクは、アプリケーション (ライティングソフト) の設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください (詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- ・CD-R/CD-RW に記録されているタイトルなどの文字情報は、音楽データ (CD-DA) 再生時に表示できない場合があります。
- ・CD-RW は、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R より時間がかかります。
- ・CD-R/CD-RW の取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

→2-67 ページ「CD」

DVD について

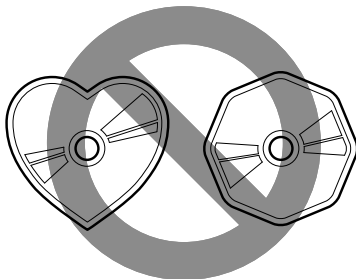
本機で使用できるメディア、再生可能なデータは次の通りです。
次のマークが記載されたディスクが使用可能です。

市販ディスク		
記録されたディスク		
		

知識

- ・本機は、CPRM (Content Protection for Recordable Media) に対応しています。
- ・本機の地域番号は「2」です。再生可能な地域番号に「2」が含まれているディスクのみ再生できます。
- ・記載している規格以外で書き込まれた DVD-Video/DVD-VR ファイルは、再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されないことがあります。
- ・DVD-VR ファイルは、メニューが表示されません。

- ・ハート型や八角形など特殊形状の DVD は使用しないでください。機械の故障の原因となることがあります。



- ・悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びや映像の乱れなどを起こすことがあります。
- ・寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露 (水滴) が生じ、正しく作動しなくなることがあります。このようなときは、DVD を取り出して室内を換気、または除湿してから使用してください。
- ・DVD 信号面に直接手で触れると、DVD の信号面が汚れ、音飛びや映像の乱れなどを起こすことがあります。DVD の端と中心の穴をはさんで持ってください。
- ・DVD はケースに入れ、直射日光を避けて保管してください。直射日光や高温など、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。

- ・ DVD の汚れを取るときは、やわらかい布で DVD の中央から外側へ向けて汚れをふき取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤などを使用すると、DVD の表面を傷める原因になりますので使用しないでください。
- ・ 文字を書き込んだり、ラベルやシールを貼り付けたりした DVD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・ 変形したり、ひびがはいったりした DVD は使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・ セロハンテープやレンタル DVD のラベルからのりがはみ出していたり、ラベルをはがしたりしたあとがある DVD は、使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。
- ・ DVD 差し込み口に指や異物を入れないでください。故障の原因になることがあります。
- ・ DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW は、録画に使用したレコーダーやディスクの状態によっては再生できない場合があります。
- ・ ファイナライズ処理 (通常の DVD プレーヤーで再生できるようにする処理) されていない DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW は再生できません。
- ・ 音楽用 DVD レコーダー、またはパソコンで記録した DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW は、ディスクの特性、キズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ・ パソコンで記録したディスクは、アプリケーション (ライティングソフト) の設定および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください (詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- ・ DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW の取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- ・ DVD ビデオではディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この DVD プレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに付属の取扱書もあわせて参照してください。
- ・ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「ドルビー」、「Dolby」およびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク		意味
NTSC		カラーテレビの方式です。
		音声のトラック数です。 数字が収録されている音声数を表します。
		字幕の言語数です。 数字が収録されている言語数を表します。
		アングルの数です。 数字が収録されているアングル数を表します。
		選択することができる画面モードです。 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面を表します。
		再生可能な地域番号。ALL は全世界向け、数字は地域番号を表します (「2」は日本を示します)。

正しく DVD をご利用いただくために (用語の解説)

DVD-Video

DVD-Video は、DVD フォーラムの定めた映像保存の規格です。

デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである MPEG2 (エムペグ 2) が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。

さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

DVD-VR

DVD-VR は、DVD Video Recording Format の略称で、DVD フォーラムの定めた映像保存の規格です。

マルチアングル

DVD プレーヤーの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル (カメラの位置) で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

マルチランゲージ (多言語)

DVD プレーヤーの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

地域番号 (リージョンコード)

DVD プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号 (リージョンコード) が設けられています。

再生させるディスクの地域番号が、プレーヤーに設定されている地域番号と異なる場合は、ディスクの再生はできません。

また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この DVD プレーヤーで再生させることができないことがあります。

→2-73 ページ「DVD」



USB オーディオ機器について

USB メモリ、USB オーディオ機器に記録して再生可能なデータは次の通りです。
MP3、AAC (M4A)、WMA、Ogg、WAV

注意

オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけしないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

知識

- ・ データ規格の詳細については「再生可能なオーディオファイルについて」を参照ください。
- ・ 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
マツダコネクトで接続確認済み機材はマツダコネクトサポートページで情報公開しています。
- ・ FAT32 でフォーマットされた USB メモリに対応しています。
(NTFS フォーマットなどでフォーマットされた USB メモリには対応していません)。
- ・ USB メモリの容量は 32GB 以下、保存ファイル数は 1,000 以内が推奨となります。
- ・ USB メモリのファイル名が長すぎると、動作が不安定になることがあります。
(推奨：80 文字以内)
- ・ 本機では USB2.0/1.1 規格に対応したデバイスが利用できます。
USB3.0 規格品であっても USB2.0 と互換のある機材であれば、USB2.0 デバイスとして利用可能です。
- ・ 本機は著作権保護された WMA/AAC/Ogg ファイルを再生できません。
- ・ 機器に保存された曲順と再生順序が違うことがあります。
- ・ ( 印字なし USB 端子装備車)
機器が 1,000mA 以上の電力を使用する場合は、作動しなかったり、充電できなかったりする場合があります。
- ・ ( 印字付き USB 端子装備車)
接続する機器の消費電流が次の電流を超える場合は、機器が作動しなかったり、充電できなかったりする場合があります。
 - ・ Apple 製品を接続しているとき: 2,100 mA
 - ・ BC1.2 対応デバイスを接続しているとき: 1,500 mA
 - ・ 上記以外のデバイスを接続しているとき: 500 mA
- ・ USB オーディオ再生中に USB オーディオ機器を取り外さないでください (ラジオや CD などの、別のオーディオモード中に取り外すことができます)。
- ・ パスワードで保護されたデータは、再生することができません。
- ・ 記録されているデータの消失、損傷といった万一にそなえて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- ・ USB オーディオ機器が再生に対応していない音楽データは、本機で再生できない場合があります。

記載している規格以外で書き込まれた MP3/WMA/AAC/Ogg ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。

→2-58 ページ「USB」

Gracenote®音楽認識サービスについて

知識

- ・「Gracenote®音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。
- ・Gracenote®音楽データベースは更新することができます。
→2-58 ページ「USB」
- ・本機では、Gracenote®音楽認識サービスはUSB オーディオと Bluetooth®オーディオに対応しています。

Bluetooth®オーディオについて

Bluetooth®通信機能のあるポータブルオーディオ機器を車両の Bluetooth®ユニットに登録すると、登録したポータブルオーディオ機器に録音されている音楽を、車両のスピーカーから聴くことができます。また、ポータブルオーディオ機器を車両の外部入力端子に接続する必要はありません。

→2-129 ページ「その他の装備・機能」

登録後は、車両のセンターディスプレイで音楽の再生/停止が可能です。

知識

- ・Bluetooth®機器によっては使用できない場合があります。対応する Bluetooth®機器の情報はマツダ販売店に問い合わせください。
- ・安全のため、車両が停止しているときのみペアリング (登録) することができます。車両が発進すると、ペアリングは中断されます。ペアリングを行う前に、安全な場所に車両を止めてください。
- ・Bluetooth®機器の通信可能距離は約 10 メートル以内です。
- ・Bluetooth®機器を鞆に入れたままだと、接続しにくい場合があります。
- ・コンテンツ保護されたデジタル音声出力 (SCMS-T など) には対応していません。
- ・スマートフォンなどでの音楽配信サービスアプリ等の楽曲は再生できないことがあります。
- ・Bluetooth®接続していない場合でも、音声コマンドを発話することによりオーディオの基本操作などは可能です。
- ・マツダコネクトで接続確認済み機材はマツダコネクトサポートページでも情報公開しています。

対応 Bluetooth®規格 (推奨)

Ver. 1.1/1.2/2.0 + EDR/2.1 + EDR/3.0 (適合)

および Bluetooth® Ver3.0 と互換のあるもの

対応プロファイル

- ・A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) Ver. 1.0/1.2
- ・AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) Ver. 1.0/1.3/1.4

A2DP は、音声を Bluetooth®ユニットに転送するだけのプロファイルです。AVRCP に対応せず、A2DP のみに対応している Bluetooth®オーディオ機器の場合、センターディスプレイでの操作はできません。この場合は、Bluetooth®非対応のポータブルオーディオ機器を AUX 端子に接続したときと同様に、Bluetooth®オーディオ機器側での操作のみ可能です。

機能	AVRCP		
	Ver. 1.0	Ver. 1.3	Ver. 1.4
再生	○	○	○
一時停止	○	○	○
ファイル(トラック) アップ/ダウン	○	○	○
早もどし	—	○	○
早送り	—	○	○
楽曲情報表示	—	○	○
リピート	—	機器に依存	機器に依存
シャッフル	—	機器に依存	機器に依存
スキャン	—	機器に依存	機器に依存
フォルダアップ/ダウン	—	—	機器に依存

○: 可能
—: 不可能

知識

- ・ Bluetooth®が接続されているときは、Bluetooth®オーディオ機器のバッテリー消費量が増加します。
- ・ AVRCP Ver. 1.6 以上に対応している機器を接続すると、楽曲情報が正しく表示されない場合があります。

注意

Bluetooth®オーディオとして接続しているデバイスを、同時に USB オーディオとして本機に接続しないでください。正常に操作できなくなったり、予期しない動作を引き起こすことがあります。

→2-53 ページ「Bluetooth®」

再生可能なオーディオファイルについて

注意

オーディオファイル以外のファイルにオーディオファイルの拡張子をつけないでください。また、オーディオファイルの拡張子を変更しないでください。本機がファイルを誤認識して再生してしまい、雑音や故障の原因となります。

本機で再生可能なオーディオファイルは次の通りです。

対応フォーマット		対応ビットレート	対応サンプリングレート	CD	USB
MP3		32 ~ 320kbps	32 ~ 48kHz	○	○
AAC	AAC LC	64 ~ 320kbps	11.025 ~ 44.1kHz	○	○
	HE-AAC (モノラル)	24 ~ 80kbps	32kHz/44.1kHz	○	○
	HE-AAC (ステレオ)	24 ~ 80kbps	32kHz/44.1kHz	○	○
WMA	WMA Std	8 ~ 320kbps	32 ~ 48kHz	○	○
	WMA Pro	32 ~ 768kbps	32 ~ 96kHz	○	○
	WMA Lossless	32 ~ 3,000kbps	32 ~ 48kHz	○	○
Ogg		32 ~ 500kbps	8 ~ 192kHz	—	○
WAV		32 ~ 1,536kbps	32 ~ 48kHz	—	○
M4A	AAC	64 ~ 256kbps	32 ~ 48kHz	○	○

○: 可能
—: 不可能

MP3 について

MPEG Audio Layer3 の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。

MP3 は、音声データを元のデータの約 10 分の 1 に圧縮することができます。

本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。

知識

フランス、トムソン社からの MP3 特許ライセンスについて
 本機は、個人の使用、または非商用的な使用を目的としています。次のような、商用目的には使用できません。ご使用には、別途、トムソン社からの商用使用許諾が必要です。詳しくは <http://mp3licensing.com> をご覧ください。

- ・ 有料リアルタイム放送 (地上波、衛星、ケーブル、その他の放送媒体)
- ・ インターネットによる放送、またはストリーミング
- ・ イン트라ネット/ネットワーク
- ・ 有料オーディオ・アプリケーションやオーディオ・オンデマンド・アプリケーションなどの電子情報配信システム

- ・ MP3 ファイルが記録された CD-R/CD-RW/CD-ROM の再生に対応しています。
- ・ パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子が見つからない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.mp3」を追記してからメディアに書き込んでください。
- ・ 表示される文字数には制限があります。

WMA について

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。

※Microsoft、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

- ・ 記載している規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- ・ パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子が見つからない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.wma」を追記してからメディアに書き込んでください。

AAC について

AAC とは、Advanced Audio Coding の略称で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.aac/.m4a) が付いているファイルを AAC ファイルとして再生します。

- ・ 記載している規格以外で書き込まれた AAC ファイルは、正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかつたりする場合があります。
- ・ パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子が見つからない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.aac」、「.m4a」を追記してからメディアに書き込んでください。

Ogg について

Ogg とは、Xiph.Org Foundation の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも高い圧縮率で、音声データを作成・保存することができます。

本機は、拡張子 (.ogg) が付いているファイルを Ogg ファイルとして再生します。

- ・ 記載している規格以外で書き込まれた Ogg ファイルは、正常に再生できなかつたり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかつたりする場合があります。
- ・ パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子が見つからない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.ogg」を追記してからメディアに書き込んでください。

WAV について

WAV とは、WAVE の略称で、Microsoft と IBM によって開発された音声圧縮の規格です。本機では PCM (パルス符号変調) 形式で記録された、拡張子 (.wav) が付いているファイルを WAV ファイルとして再生します。

知識

PCM 形式は、CD などに採用されている形式で、アナログのオーディオデータをデジタル化するための手法です。

- ・記載している規格以外で書き込まれた WAV ファイルは、正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されなかったりする場合があります。
- ・パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によっては拡張子が見つからない場合があります。その場合は、ファイルの最後に拡張子「.wav」を追記してからメディアに書き込んでください。

Apple CarPlay に関する免責事項

本機は、iPhone を車両のオーディオ機器で操作できる Apple CarPlay に対応しています。機種や OS のバージョンによっては、対応していない場合があります。

注意

- 安全のため、運転しながら iPhone 本体での操作はしないでください。
- iPhone を使用しないときは取りはずしてください。車内に放置すると、車内の高温と湿度で破損したりバッテリーが消耗することがあります。
- iPhone のバッテリーが劣化しているときは、本機に接続しても充電や音楽再生などができない場合があります。
- ご使用前に、iPhone の取扱説明をよくお読みください。

知識

- ・記録されているデータの消失、損傷といった万一にそなえて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。

→2-13 ページ「Apple CarPlay」

Android™ について

本機は、Android™ 5.0 Lollipop 以上を使用している Android™ スマートフォンに対応しています。Android Auto™ を使用するには、Android Auto™ アプリケーションがダウンロードされたスマートフォンが必要です。

注意

- 安全のため、運転しながら Android™ スマートフォンの操作はしないでください。
- Android™ スマートフォンを使用しないときは取りはずしてください。車内に放置すると、車内の高温と湿度で破損したりバッテリーが消耗することがあります。
- Android™ スマートフォンのバッテリーが劣化しているときは、本機に接続しても充電や音楽再生などができない場合があります。
- ご使用前に、Android™ スマートフォンの取扱説明をよくお読みください。



知識

- ・記録されているデータの消失、損傷といった万一にそなえて、データはバックアップを取っておくことをおすすめします。

→2-20 ページ「Android Auto™」

ラジオ

交通情報の受信

1. ホーム画面から  を選択します。
最後に使用したオーディオソースの再生画面とメニューバーが表示されます。
2.  ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。





3. **交通情報** を選択すると再生画面とメニューバーが表示されます。



ボタン	説明	音声コマンド
1620/1629	選択するごとに、AM1620kHz と AM1629kHz を切り替えることができます。	—
設定	音質を調節します。 →2-129 ページ「その他の装備・機能」	—

FM/AM ラジオの受信

1. ホーム画面から  を選択します。
最後に使用したオーディオソースの再生画面とメニューバーが表示されます。
2.  ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。



3. [AM]か[FM]を選択すると、再生画面とメニューバーが表示されます。

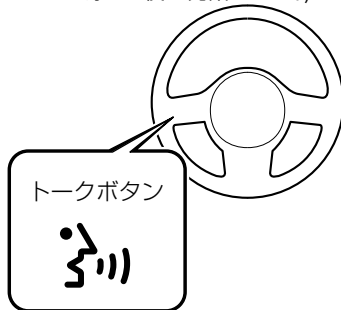


([FM] を選択した場合)



 音声認識機能が使えます





- オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタンを押します。
(音声ガイドが流れ、最後にと鳴った後に発話します。)






- 「AM」または「FM」と発話します。
その他の音声認識コマンドはメニュー説明の音声コマンド欄をご参照ください。

 知識

音声コマンドとして「ヘルプ」と発話すると、使用可能な音声コマンドが案内されます。

アイコン	説明	音声コマンド
	エンターテインメントメニューを表示します。他のオーディオソースに切り替えたいときに使います。	エンターテインメント
	放送局リストを表示します。放送局リストには <u>エリア登録Ch</u> 、 <u>受信Ch</u> の2つがあります。 <u>エリア登録Ch</u> には本機が記憶している放送局を、自車の位置を参考に表示します。 <u>受信Ch</u> には本機が実際に受信できた放送局を表示します。表示された放送局リストから聞きたい局を選択します。	放送局
	お気に入りリストを表示します。長押しすると、そのとき受信している周波数をお気に入りに登録できます。	お気に入り
	受信可能な放送局を探することができます。周波数の低い方から高い方へ5秒間ずつ受信していきます。聞きたい局が見つかったら、もう一度選択することでその周波数が固定されます。	スキャン

アイコン	説明	音声コマンド
	周波数選択画面を表示します。*1	チューニング
	自動選局します。 長押しすると周波数は変化し続けます。アイコン、または コマンダーノブから手を離すと止まります。	シークダウン/シークアップ
	音質を調節します。 →2-129 ページ「その他の装備・機能」	サウンド設定

*1 周波数選択方法

- ・ コマンダーノブをまわす。
- ・ ◀または▶をタッチする。
周波数が1ステップずつ切り替わります。
- ・ ◀または▶を長押しする。
周波数は変化し続けます。アイコンから手を離すと止まります。



タッチまたは長押しする



放送局リスト

自車の位置を基点に放送局を表示します。また放送局リストの表示を更新できます。ラジオ再生画面で放送局リストボタンを選択します。



(エリア登録 Ch.を表示させる場合)

1. エリア登録 Ch.タブを選択します。
あらかじめ本機がエリアごとに記憶している放送局が自車位置を参考に昇順で表示されます。



2. **リスト更新**を選択します。
リスト更新を選択することによって最新の自車位置で放送局リストを更新することができます。

(受信 Ch.を表示させる場合)

1. 受信 Ch.タブを選択します。
本機のチューナーが実際に受信した放送局が昇順で表示されます。



2. **リスト更新**を選択します。
リスト更新を選択することによって再度受信可能な放送局を探し、リストを更新することができます。

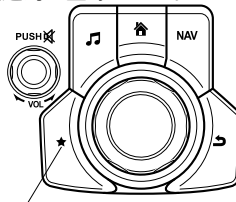
知識

- ・ エリア登録 Ch.は、本機が記憶している放送局の中から、自車位置に応じて受信可能と思われる放送局がリスト表示されます。受信状況によってはリストにある放送局を受信することができない場合があります。
- ・ 受信 Ch.では放送局名が表示されず周波数のみ表示されることがあります。次のような場合は、放送局名が表示されません。
 - ・ 地域のコミュニティ放送局
 - ・ 新たに中継局を増設した放送局
- ・ 本機に記憶された放送局名は、放送局名称の変更などによって最新とは異なる場合があります。

お気に入りに登録する

選局した放送局を登録しておくくと便利です。最大 50 件の放送局を登録することができます。お気に入りリストは FM、AM で共通です。

★を長押しすると、現在流れている放送局を登録します。また、次の手順で登録することもできます。



お気に入りボタン

※コマンダースイッチの形状は車種により、異なります。

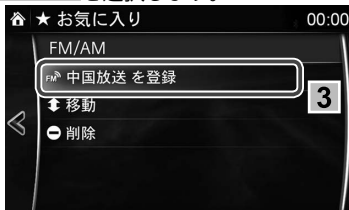
1. ★を選択し、お気に入りリストを表示します。



2. **追加/編集**を選択します。



3. (視聴している周波数) を登録を選択します。



4. お気に入りリストの一番下に追加されます。

お気に入りから放送局を選択する

1. ★を選択し、お気に入りリストを表示します。



2. 登録した周波数を選択すると、その放送局を受信します。



お気に入りから削除する

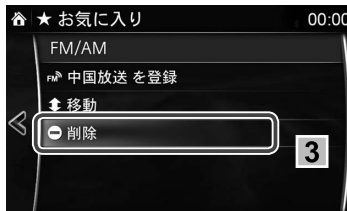
1. ★を選択し、お気に入りリストを表示します。



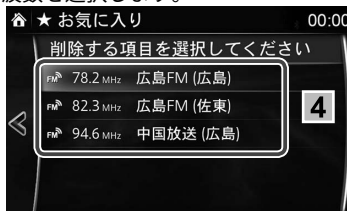
2. 追加/編集を選択します。



3. 削除を選択します。



4. 削除したい放送局、または周波数を選択します。



5. 削除を選択します。

お気に入りリストの表示順を変更する

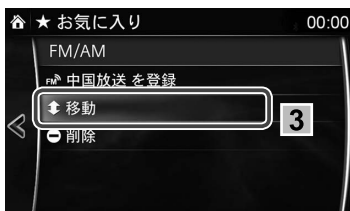
1. ★を選択し、お気に入りリストを表示します。



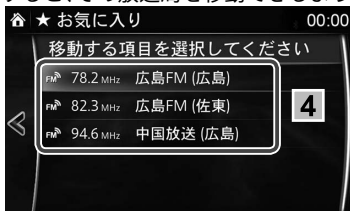
2. 追加/編集を選択します。



3. 移動を選択します。





4. 放送局、または周波数を選択すると、その放送局を移動できるようになります。



5. スライド、またはコマンドースイッチで放送局を移動しOKを選択します。

テレビ

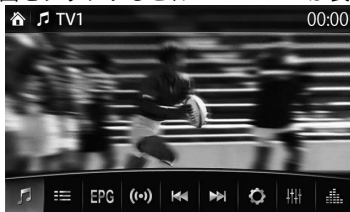
1. ホーム画面から  を選択します。最後に使用したオーディオソースの再生画面とメニューバーが表示されます。
2.  ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。











3. TV を選択すると、テレビ画面が表示されます。



4. コマンドノブを押すか、画面をタッチすると、メニューバーが表示されます。



アイコン	説明	音声コマンド
	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	—
	チャンネルリストを表示します。	—
EPG	視聴しているチャンネルの番組情報を表示します。確認したい番組を選択すると、番組説明を表示します。	—
	系列局を探してチャンネルを切り替えます。	—

アイコン	説明	音声コマンド
	選局します。 チャンネルリストに記憶させておいた放送局を呼び出します。 長押しすると自動選局します。	—
		
	テレビ設定画面を表示します。	—
	画質を設定します。 画面の下部に画質設定を表示します。	—
	音質を調節します。 →2-129 ページ「その他の装備・機能」	—

知識

- ・安全のため、走行中は映像が表示されません。
- ・テレビを表示してしばらくすると、フルスクリーン表示に切り替わります。
- ・テレビでは音声認識を利用できません。

チャンネルリスト


放送局は、チャンネルリストから探します。

チャンネルリストに登録する

受信可能な放送局を、チャンネルリストに登録することができます。

チャンネルは **TV 1**、**TV 2** それぞれ 12 局まで登録できます。


(視聴している放送局に登録する)

1.  を選択すると、チャンネルリストを表示します。




2. **TV 1** または **TV 2** タブを選択して、チャンネルリストを選びます。
3. リストのいずれかを長押しすると、放送局に登録します。

(受信可能なすべての放送局を登録する)

1. を選択すると、チャンネルリストを表示します。



2. **TV 1** または **TV 2** タブを選択して、チャンネルリストを選びます。
 3. **Auto Preset** を選択します。
 4. **はい** を選択すると、受信可能な放送局を探し、チャンネルリストに登録します。
- チャンネルリストから放送局を選択する**

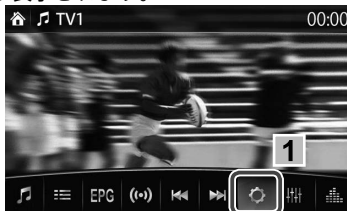
1. を選択すると、チャンネルリストを表示します。
2. **TV 1** または **TV 2** タブを選択して、チャンネルリストを選びます。
3. 呼び出す放送局を選択します。



テレビの各種機能を設定する

テレビの各種機能を設定することができます。

1. を選択すると、設定項目が表示されます。



2. 設定したいメニューを選択して設定します。



受信設定

フルセグ(地上デジタルテレビ放送)とワンセグの受信設定を変更します。

AUTO: 受信状態によってフルセグ受信とワンセグ受信を切り替えます。

フルセグ: 常にフルセグを受信します。

ワンセグ: 常にワンセグを受信します。

音声多重設定

主/副音声を選択することができます。

主音声: 主音声に切り替えます。

副音声: 副音声に切り替えます。

主/副: 主音声副音声に切り替えます。

字幕設定

字幕表示を設定します。

OFF: 字幕を表示しません。

字幕 1: 字幕 1 を表示します。

字幕 2: 字幕 2 を表示します。

音声言語設定

音声言語を設定します。

1. **音声言語設定**を選択すると、選択可能な音声言語設定が表示されます。
2. 聞きたい音声言語設定を選択します。

放送局自動サーチ

放送局自動サーチ機能の ON/OFF を設定します。

OFF: 視聴している放送の受信状態が悪くなくても、中継局を探しません。

ON: 視聴している放送の受信状態が悪くなると、受信状態の良い中継局を探して自動で切り替えます。

受信機情報

受信機情報を表示します。

受信機情報を選択すると、ソフト情報を表示します。

設定初期化

すべてのテレビ設定値をリセットし、初期値にもどすことができます。

1. **設定初期化**を選択します。
2. **はい**を選択します。

画質を設定する

画面の明るさ、コントラスト、色合い、色の濃さを設定できます。

1. **画質**を選択します。



2. 次のタブを選択し、調節します。



タブ	説明
明るさ	スライダーで画面の明るさを調節します。
コントラスト	スライダーで画面のコントラストを調節します。
色合い	スライダーで画面の色合いを調節します。
色の濃さ	スライダーで画面の色の濃さを調節します。
リセット	画面設定を初期値にもどします。 リセット を選択します。

緊急放送の視聴

本機は、緊急放送を受信することができます。



1. 緊急放送を受信すると、確認画面が表示されます。
2. はい を選択すると、緊急放送に切り替わります。
緊急放送が終了すると、もとの状態にもどります。

Bluetooth®

Bluetooth®オーディオモードに切り替える

Bluetooth®オーディオ機器に保存されている音楽や音声を、センターディスプレイで操作するために Bluetooth®オーディオモードに切り替えてください。使用する前に Bluetooth®オーディオ機器を車載の Bluetooth®ユニットに登録する必要があります。

→2-129 ページ「その他の装備・機能」


1. Bluetooth®オーディオ機器の電源を ON にします。
2. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
3. ホーム画面から  を選択します。
最後に使用したオーディオソースの再生画面が表示されます。
4. アイコン左端の  ボタンを選択すると、エンターテインメントメニューが表示されます。



5. **Bluetooth** を選択します。



知識

- ・ 機器側でアプリケーション画面を表示していない場合、マツダコネクで Bluetooth®オーディオの再生ができないことがあります。
- ・ Aha™や Stitcher™ラジオを使用後に Bluetooth®オーディオを使用する場合は、先に Bluetooth®オーディオ機器側のアプリケーションを終了させる必要があります。
- ・ Bluetooth®オーディオ機器の再生が始まらない場合は  を選択してください。
- ・ モードが Bluetooth®オーディオモードから他のモード (ラジオモードなど) に切り替わると、Bluetooth®オーディオ機器からの再生は停止します。

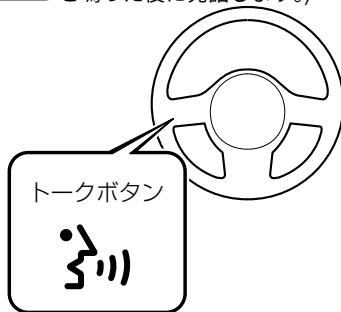
再生

Bluetooth®オーディオモードに切り替えると、Bluetooth®オーディオ機器の音声を車両のスピーカーから聞くことができます。

Bluetooth®オーディオモードに切り替わると、画面の下部に次のアイコンが表示されます。お使いのBluetooth®オーディオ機器のバージョンによって、表示されるアイコンは異なります。

音声認識機能が使えます



1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタンを押します。
(音声ガイドが流れ、最後にと鳴った後に発話します。)



2. 「Bluetooth (ブルートゥース)」と発話します。
その他の音声認識コマンドはメニュー説明の音声コマンド欄をご参照ください。

知識


音声コマンドとして「ヘルプ」と発話すると、使用可能な音声コマンドが案内されます。

アイコン	説明	音声コマンド*1
	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	エンターテイメント
	(AVRCP Ver. 1.4 のみ) 一番上の階層のフォルダ/ファイルを表示します。 フォルダを選択します。フォルダ内のファイルが表示されます。 聞きたいファイルを選択します。	メニュー

アイコン	説明	音声コマンド*1
	<p>(AVRCP Ver. 1.3 以上) 再生中の曲を繰り返し再生します。 もう一度選択すると、フォルダ内の曲を繰り返し再生します。 もう一度選択すると解除されます。 ソングリピート時、フォルダリピート時にはアイコンが変化します。</p>	リピート
	<p>(AVRCP Ver. 1.3 以上) フォルダ内の曲をランダムな順序で再生します。 もう一度選択すると、機器内の曲をランダムな順序で再生します。 もう一度選択すると解除されます。 フォルダシャッフル時、デバイスシャッフル時にはアイコンが変化します。</p>	シャッフル
	<p>前の曲の頭にもどります。 長押しすると早もどしをします。アイコン、またはコマンドメニューから手を離すと止まります。</p>	前へ*2
	<p> →  (一時停止中に選択すると) 曲を再生します。</p> <p> →  (再生中に選択すると) 一時停止します。</p>	再生 一時停止
	<p>次の曲の頭に進みます。 長押しすると早送りをします。アイコン、またはコマンドメニューから手を離すと止まります。</p>	次へ*3
	<p>音質を調節します。 →2-129 ページ「その他の装備・機能」</p>	サウンド設定

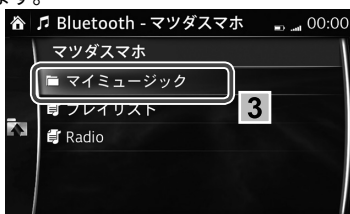
- *1 音声認識機能が使えます。
「ヘルプ」と発話すると使用可能な音声コマンドが表示されます。
- *2 音声認識では「早もどし」に対応していません。
- *3 音声認識では「早送り」に対応していません。

使用例 (機器の一番上の階層から曲を探すとき)


1. を選択して、一番上の階層のフォルダ/ファイルリストを表示します。



2. フォルダを選ぶと、そのフォルダの中のフォルダ/ファイルリストが表示されます。プレイリストを選ぶと、その中のファイルリストが表示されます。
3. 聞きたいファイルを選択します。



知識

を選択すると、一つ上のフォルダに移動します。

Bluetooth®オーディオ機器情報表示

Bluetooth®オーディオ機器を接続すると、車両に収録されているデータベースの中から次の情報を検索して画面に表示します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote®音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

データベースの更新方法については、「その他の装備・機能」を参照ください。

→2-129 ページ「その他の装備・機能」

	AVRCP Ver. 1.3 未満	AVRCP Ver. 1.3	AVRCP Ver. 1.4 以上
機器名	○	○	○
バッテリー残量表示	○	○	○
曲名	—	○	○
アーティスト名	—	○	○
アルバム名	—	○	○

	AVRCP Ver. 1.3 未満	AVRCP Ver. 1.3	AVRCP Ver. 1.4 以上
再生時間	—	○	○
アルバムアート	—	○	○

○: 表示
—: 非表示

知識

- ・ 画面に表示される情報は、実際と異なる場合があります。
- ・ Gracenote®データベースに登録がない楽曲でも音楽ファイルに楽曲情報があれば楽曲情報 (アルバムアートを除く) が表示されます。ただし、AVRCP Ver. 1.6 以上に対応している機器を接続すると、楽曲情報が正しく表示されない場合があります。
- ・ 音楽データの取り込み方によっては、楽曲情報が表示されないことがあります。



USB

市販の USB メモリ、音楽プレイヤー、スマートフォンを本機の USB 端子に接続することで、オーディオ再生することができます。

警告

USB 端子に接続したコードが、セレクトレバー (オートマチック車)、チェンジレバー (マニュアル車) に絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

- プラグを接続した状態で、USB 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を載せたり、大きな力を加えたりしないでください。
- 接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります (ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください)。
- USB オーディオとして接続しているデバイスを、同時に Bluetooth®オーディオとして本機に接続しないでください。正常に操作できなくなったり、予期しない動作を引き起こすことがあります。
- USB ポートに SD カードリーダーや USB ハブを接続しないでください。カードに書き込まれた音楽の再生には対応していません。ナビゲーションシステムが使用できなくなることがあります。またマウスやキーボードも接続しないでください。
- USB オーディオ機器を車内に放置しないでください。炎天下では車内が高温となり、故障の原因になります。
- SD カードスロットは、ナビゲーションシステム用です。ナビゲーションシステム用の SD カード (マツダ純正品) を差し込んで使用します。音楽ファイルが保存された SD カードを挿入しても再生できません。

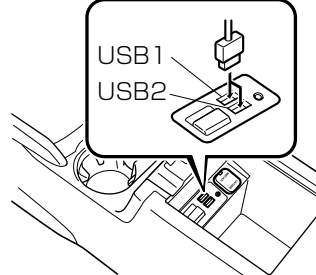
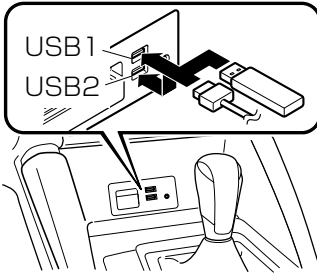
知識

- ・ 接続する機器によっては、使用できない場合があります。マツダコネクで動作確認済みの機種はマツダコネクサポートページで情報公開しています。
本ページよりエンターテイメントの動作確認済機種を参照ください。
- ・ ご使用前に、市販のポータブルオーディオの取扱説明書をよくお読みください。
- ・ エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- ・ プラグは USB 端子に確実に差し込んでください。
- ・ 本機では USB2.0/1.1 規格に対応したデバイスが利用できます。USB3.0 規格品であっても USB2.0 と互換のある機材であれば、USB2.0 デバイスとして利用可能です。

機器を接続する

USB ケーブルで、車両と USB オーディオ機器を接続します。プラグの抜き差しは USB 端子の穴に対して垂直におこなってください。

Aタイプ (インストルメントパネル取り付けタイプ) Bタイプ (コンソールボックス取り付けタイプ)





USB 端子の位置は車種により異なります。

音楽を再生する

📖 知識

- ・ USB メモリを使用する場合、容量や保存されたファイル数によっては再生できるまで時間がかかることがあります。
- ・ USB メモリの容量は 32GB 以下、保存ファイル数は 1,000 以内が推奨となります。
- ・ USB メモリのファイル名が長すぎると、動作が不安定になることがあります。
(推奨：80 文字以内)
- ・ アルバムアートのサイズによっては、アルバムアートが表示できない場合があります。

1. ホーム画面から  を選択します。
最後に使用したオーディオソースの再生画面が表示されます。
2. アイコン左端の  ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。

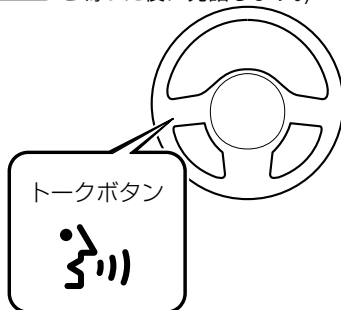


3. **USB 1** または **USB 2** を選択します。
(USB を接続していない場合は、**USB 1**、**USB 2** は選択できません)



 音声認識機能が使えます









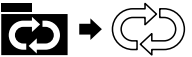


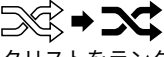

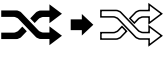









1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン³を押します。
(音声ガイドが流れ、最後に³と鳴った後に発話します。)




2. 「USB1」または「USB2」と発話します。
(USB を接続していない場合は、**USB 1**、**USB 2** は選択できません)



USB オーディオ機器再生画面

アイコン	説明	音声コマンド*1
	エンターテインメントメニューを表示します。 他のエンターテインメントソースに切り替えたいときに使います。	エンターテインメント
	カテゴリーリストを表示します。 アルバムやアーティストなどの再生方法が指定できます。	—
	カテゴリーで選択した再生方法のトラックリストを表示します。	現在のフォルダ
	 →  再生中の曲をくり返して再生します。	リピート*3
	 →  カテゴリーで選択した再生方法のトラックリスト全体をくり返して再生します。	全曲リピート*4
	 →  リピート再生を解除します。	リピート*3
	 →  カテゴリーで選択した再生方法のトラックリストをランダムな順序で再生します。	シャッフル*5
	 →  シャッフル再生を解除します。	
	Gracenote® の More Like This™ によって、再生中の曲と似た曲を自動で探し出し、再生を開始します。*2 More Like This™ をキャンセルするには、カテゴリーリストの中から任意の曲を選択します。	More Like This (モアライク デイス)
	曲の再生が始まって数秒以内であれば、前の曲の頭にもどります。曲の再生が始まって数秒以上経過していれば、再生中の曲の頭にもどります。長押しすると早もどしをします。	前へ*6
	 →  (一時停止中に選択すると) 曲を再生します。	再生
	 →  (再生中に選択すると) 一時停止します。	一時停止
	次の曲の頭に進みます。 長押しすると早送りをします。	次へ*7

アイコン	説明	音声コマンド*1
	音質を調節します。 →2-129 ページ「その他の装備・機能」	サウンド設定

- *1 音声認識機能が使えます。
「ヘルプ」と発話すると使用可能な音声コマンドが表示されます。
- *2 USB 接続してから「More Like This」が使用できるようになるまで一定の時間が必要になります。使用可能になるまでの時間は接続した USB に格納された音楽データの容量により異なります。
- *3 「リピート」と発話すると [リピート] [全曲リピート] [解除] の順に切り替わります。
- *4 「全曲リピート」と発話するとダイレクトに [全曲リピート] を選択できます。
- *5 「シャッフル」と発話すると [シャッフル再生] [シャッフル解除] が切り替わります。
- *6 音声認識では「早もどし」に対応していません。
- *7 音声認識では「早送り」に対応していません。

知識

再生時間を表示しているスライダーを移動することで、好きな時間から再生できます。

聞きたい曲を選ぶ

カテゴリーリストから曲の再生方法を選択します。

カテゴリー	説明	音声コマンド*1
プレイリスト	機器に登録されたプレイリスト一覧が表示され、選択したプレイリストをトラックリストとして再生します。	プレイリスト
アーティスト	機器に収録されたアーティスト一覧が表示され、選択したアーティストのアルバムまたは全曲をトラックリストとして再生します。	アーティスト*2
アルバム	機器に収録されたアルバム一覧が表示され、選択したアルバムをトラックリストとして再生します。	アルバム
曲	機器に収録された全ての曲が表示され、全ての曲をトラックリストとして再生します。また、アルファベット～50 音検索で聞きたい曲が探せます。	曲
ジャンル	機器に収録された曲のジャンル一覧が表示され、選択したジャンルの中でアーティスト別やアルバム別、またはすべての曲をトラックリストとして再生します。	ジャンル
オーディオブック	機器に収録されたオーディオブックのリストが表示され、選択したチャプターを再生します。	オーディオブック*3

カテゴリ	説明	音声コマンド*1
ポッドキャスト	機器に収録された Podcast のリストが表示され、選択したエピソードを再生します。	ポッドキャスト*3
Apple Music Radio	Apple Music Radio ステーションを表示します。ステーションの選択と再生ができます。	アップルミュージックラジオ*3
フォルダ	機器に作成されたフォルダが表示され、選択したフォルダをトラックリストとして再生します。	フォルダ*4

楽曲情報がない音楽ファイルは「曲」「フォルダ」でしか表示されません。

*1 音声認識機能が使えます。音声コマンドはカテゴリ一名です。

*2 「(アーティスト名)の曲を再生」と発話すると、USB に保存されている曲の中から任意のアーティストの曲を再生することができます。

*3 iPhone、iPod を接続時に操作することができます。

*4 iPhone 以外のスマートフォン、USB メモリを接続時に操作することができます。

(音楽データ以外が格納されていてもリスト表示されますが、再生可能な音楽ファイル以外は選択できません。)

使用例 (USB 機器内にあるすべての曲を再生するとき)

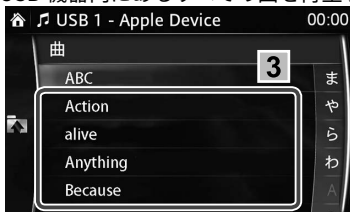
- ☰ を選択して、カテゴリリストを表示します。




- 曲 を選択します。USB 機器内にあるすべての曲が表示されます。



3. 聞きたい曲名を選択します。聞きたい曲が再生されます。
継続して再生をすることで、USB 機器内にあるすべての曲を再生することができます。

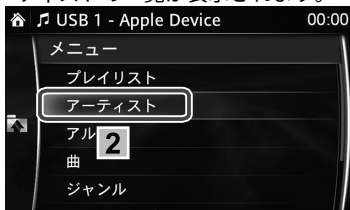


使用例 (アーティストを選んで曲を再生するとき)

1.  を選択して、カテゴリーリストを表示します。



2. **アーティスト** を選択します。アーティストの一覧が表示されます。



3. アーティストを選択します。選択したアーティストのアルバム一覧が表示されます。



4. 聞きたいアルバムを選択すると、そのアルバムの収録曲が表示されます。アーティストのすべての曲を聞きたいときは、**すべての曲**を選択します。



5. 聞きたい曲名を選択します。聞きたい曲が再生されます。

USB オーディオ再生時に表示される楽曲情報

USB オーディオ機器でオーディオを再生した場合、車両に収録されているデータベースの中からアルバム名やアーティスト名、ジャンル、タイトルを検索し、各情報がデータベースに収録されていると、各情報を自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote® 音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

知識

- ・ 自動で付与された情報は、実際と異なる場合があります。
- ・ Gracenote® データベースに登録がない楽曲でも音楽ファイルに楽曲情報があれば楽曲情報が表示されます。
- ・ 音楽データの取り込み方によっては、楽曲情報が表示されないことがあります。

データベースを更新する


知識

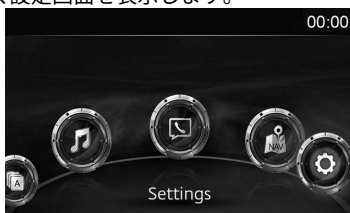
最新の Gracenote® データベースは、次の Web サイトからダウンロードすることができます。



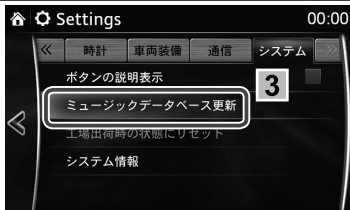
<http://infotainment.mazdahandsfree.com/howto-manageupdates?language=jp-JP>

USB オーディオ機器を使用して Gracenote® データベースを更新することができます。

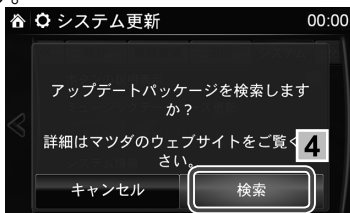
1. Gracenote® 更新用ソフトウェアを保存した USB オーディオ機器を接続します。
2. ホーム画面の  を選択して、設定画面を表示します。



3. **システム** タブを選択し、**ミュージックデータベース更新** を選択します。



4. **検索** を選択します。USB オーディオ機器に保存されているアップデートパッケージの一覧とそのバージョンが表示されます。

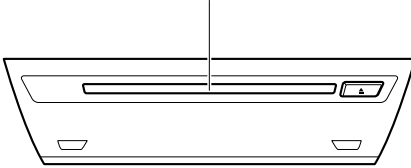


5. アップデートに使用するパッケージを選択します。
6. **インストール** を選択します。

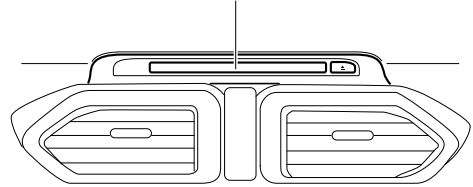
CD

CD を本機にセットする

Aタイプ
ディスク差し込み口



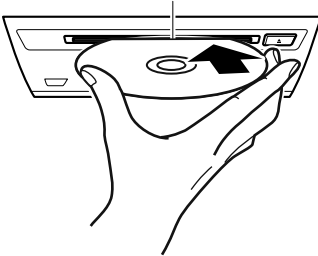
Bタイプ
ディスク差し込み口



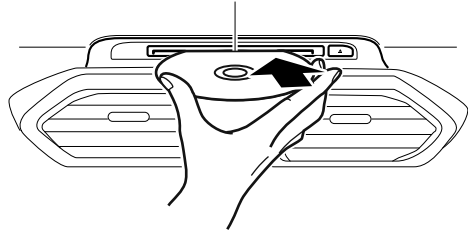
CD/DVD プレイヤーの形状は車種により異なります。

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. CD のラベル面を上にして、CD 差し込み口に軽く押し込みます。CD が自動的に送り込まれ、再生を始めます。



Aタイプ
ディスク差し込み口



Bタイプ
ディスク差し込み口



CD 再生画面へ移動する

1. ホーム画面から  を選択します。最後に使用したオーディオソースの再生画面とメニューバーが表示されます。
2.  ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。



3. **CD** を選択すると、再生画面とメニューバーが表示されます。



知識

- ・本機は CD-TEXT 対応です。CD-TEXT 対応ディスクの再生時は曲名やアーティスト名などの楽曲情報が表示されます。
- ・MP3/WMA/AAC CD では音楽ファイル作成時に楽曲情報が埋め込まれていれば楽曲情報が表示されます。
- ・本機は CD の再生では Gracenote®音楽認識サービスは利用できません。

音声認識機能が使えます














1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン  を押します。
(音声ガイドが流れ、最後に  と鳴った後に発話します。)


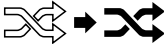



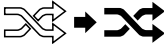
















2. 「CD」と発話します。
その他の音声認識コマンドはメニュー説明の音声コマンド欄をご参照ください。

 知識

音声コマンドとして「ヘルプ」と発話すると、使用可能な音声コマンドが案内されます。

アイコン	説明	音声コマンド*1
	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	エンターテイメント
	(音楽 CD) CD 内のトラックリストを表示します。 聞きたいトラックを選択します。	トラックリスト
	(MP3/WMA/AAC CD) 一番上の階層のフォルダ/ファイルリストを表示します。 フォルダを選択します。フォルダ内のファイルが表示されます。聞きたいファイルを選択します。	—
	(MP3/WMA/AAC CD のみ) 現在再生しているフォルダのファイルリストを表示します。聞きたいファイルを選択します。	トラックリスト
	(音楽 CD)  →  再生中の曲をくり返して再生します。  →  リピート再生を解除します。	リピート*2
	(MP3/WMA/AAC CD)  →  再生中の曲をくり返して再生します。  →  フォルダ内の曲をくり返して再生します。  →  リピート再生を解除します。	リピート*3


アイコン	説明	音声コマンド*1
	<p>(音楽 CD)</p>  →  CD内の曲をランダムな順序で再生します。  →  シャッフル再生を解除します。	シャッフル*4
	<p>(MP3/WMA/AAC CD)</p>  →  フォルダ内の曲をランダムな順序で再生します。  →  CD内の曲をランダムな順序で再生します。  →  シャッフル再生を解除します。	シャッフル*5
	<p>(音楽 CD)</p> CD内の各曲の初めを再生し、聞きたい曲を探すことができます。もう一度選択すると解除され、その曲の再生がそのまま続きます。	スキャン
	<p>(MP3/WMA/AAC CD)</p> フォルダ内の各曲の初めを再生し、聞きたい曲を探すことができます。もう一度選択すると解除され、その曲の再生がそのまま続きます。	スキャン
	曲の再生が始まって数秒以内であれば、前の曲の頭にもどります。 曲の再生が始まって数秒以上経過していれば、再生中の曲の頭にもどります。 長押しすると早もどしをします。アイコンまたはコマンドーノブから手を離すと止まります。	前へ*6
	 →  (一時停止中に選択すると) 曲を再生します。	再生
	 →  (再生中に選択すると) 一時停止します。	一時停止
	次の曲の頭に進みます。 長押しすると早送りをします。アイコンまたはコマンドーノブから手を離すと止まります。	次へ*7
	音質を調節します。 →2-129 ページ「その他の装備・機能」	サウンド設定

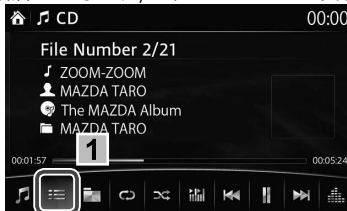
- *1 音声認識機能が使えます。
「ヘルプ」と発話すると使用可能な音声コマンドが表示されます。
- *2 「リピート」と発話すると [リピート] [解除] の順に切り替わります。
- *3 「リピート」と発話すると [1 曲リピート] [フォルダ内リピート] [解除] の順に切り替わります。
- *4 「シャッフル」と発話すると [シャッフル再生] [シャッフル解除] が切り替わります。
- *5 「シャッフル」と発話すると [フォルダ内シャッフル] [CD 内シャッフル] [解除] の順に切り替わります。
- *6 音声認識では「早もどし」に対応していません。
- *7 音声認識では「早送り」に対応していません。

📖 知識

- ・ 12cmCD サイズ専用です。8cmCD (シングル) サイズは、アダプタを使用しても再生することはできません。8cmCD アダプタを使用すると故障の原因になります。
- ・ (MP3/WMA/AAC CD)
再生は表示の上から順に再生されます。
フォルダが存在する場合は、そのフォルダの中にある曲を再生してから次を再生します。
フォルダに再生可能な曲がない場合は、次を再生します。

使用例 (MP3/WMA/AAC CD の一番上の階層から曲を探すとき)

1.  を選択して、一番上の階層のフォルダ/ファイルリストを表示します。




2. フォルダを選ぶと、そのフォルダの中のフォルダ/ファイルリストが表示されます。




3. 聞きたいファイルを選択します。



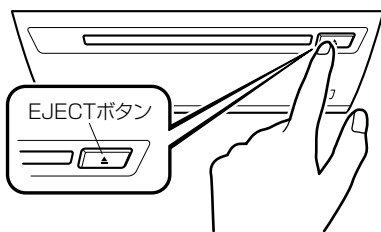
📖 知識

- ・  を選択すると、一つ上のフォルダに移動します。
- ・ スキャン再生中にオーディオ操作をおこなうと、スキャン再生中の曲が通常再生されます。その後、オーディオは通常操作をおこなうことができます。
- ・ CD を取り出すと、CD の前に再生していたオーディオソースに移動します。

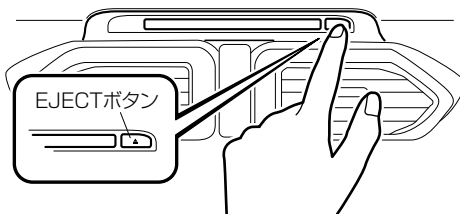
CD を取り出すとき

1.  ボタンを押します。

Aタイプ

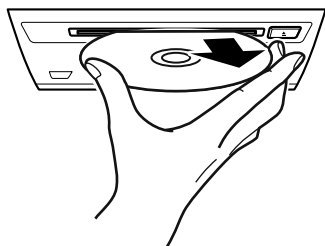


Bタイプ

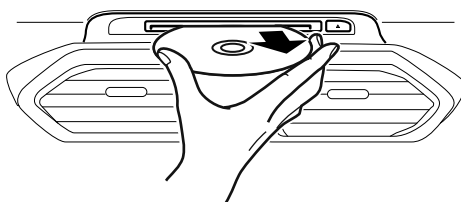


2. CD の端を持って取り出します。

Aタイプ



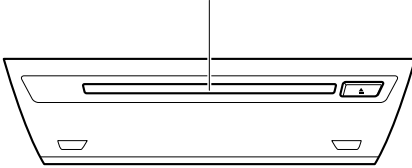
Bタイプ



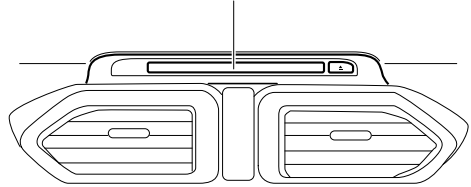
DVD

DVD を本機にセットする

Aタイプ
ディスク差し込み口



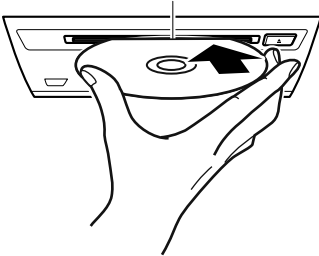
Bタイプ
ディスク差し込み口



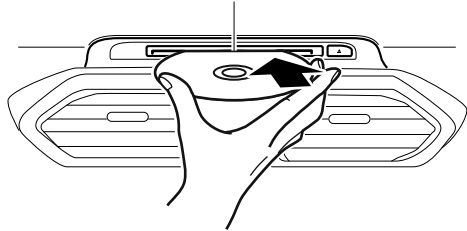
CD/DVD プレイヤーの形状は車種により異なります。

1. 電源ポジションを ACC、または ON にします。
2. DVD のラベル面を上にして、DVD 差し込み口に軽く押し込みます。DVD が自動的に送り込まれ、DVD のトップメニュー画面とコントローラーが表示されます。



Aタイプ
ディスク差し込み口



Bタイプ
ディスク差し込み口



DVD 再生画面へ移動する

1. ホーム画面から  を選択します。
2.  ボタンを選択すると、エンターテインメントメニューが表示されます。

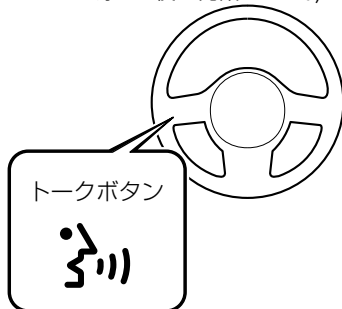


3. **DVD**を選択すると、再生画面とメニューバーが表示されます。



音声認識機能が使えます

1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン **3** を押します。
(音声ガイドが流れ、最後に **ピッ** と鳴った後に発話します。)





2. 「DVD」と発話します。
その他の音声認識コマンドはメニュー説明の音声コマンド欄をご参照ください。

 知識


音声コマンドとして「ヘルプ」と発話すると、使用可能な音声コマンドが案内されます。

アイコン	説明	音声コマンド*1
	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	エンターテイメント
	DVD のメニュー画面にもどります。	メニュー
	チャプターの再生が始まって数秒以内であれば、前のチャプターの頭にもどります。チャプターの再生が始まって数秒以上経過していれば、再生中のチャプターの頭にもどります。 再生中に長押しすると早もどしをします。一時停止中に長押しすると逆スロー再生をします。アイコン、またはコマンドダウンボタンから手を離すと止まります。	前へ*2
	 (一時停止中に選択すると) 曲を再生します。	再生
	 (再生中に選択すると) 一時停止します。	一時停止
	次のチャプターの先頭に進みます。 再生中に長押しすると早送りをします。 一時停止中に長押しするとスロー再生をします。アイコン、またはコマンドダウンボタンから手を離すと止まります。	次へ*3
	選ぶごとに、カメラアングルを変更します (使用可能な DVD の場合)。	カメラの角度
	字幕の表示/非表示を切り替えます (使用可能な DVD の場合)。	字幕
	視聴制限を切り替えます。 視聴制限レベルや、PIN コードの設定を変更することができます。	ペアレンタルロック

アイコン	説明	音声コマンド*1
	<p>再生を一時停止して、DVD 設定画面を表示します。</p> <p>サウンド設定を選択すると、音質を調節します。 →2-129 ページ「その他の装備・機能」</p> <p>アスペクト比を選択すると、アスペクト比(画面の横縦比)を選択できます。16:9 ワイドスクリーン、4:3 レターボックス、4:3 パンスキャンから選択できます。</p>	DVD 設定
	<p>画質を設定します。 画面の下部に画質設定を表示します。</p>	画質設定

- *1 音声認識機能が使えます。
「ヘルプ」と発話すると使用可能な音声コマンドが表示されます。
- *2 音声認識では「早もどし」に対応していません。
- *3 音声認識では「早送り」に対応していません。

知識

- ・ 12cmDVD サイズ専用です。8cmDVD サイズは、アダプタを使用しても再生することはできません。8cmDVD アダプタを使用すると故障の原因になります。
- ・ 安全のため、走行中は映像が表示されず音声のみになります。
- ・ コントローラーの  をスライドすると、コントローラーが移動します。
- ・ DVD の再生を止めた後に DVD モードに切り替えると、DVD のメニュー画面を表示せずに再生を再開します。
- ・ DVD 再生中に他のオーディオに切り替える場合、DVD は一時停止状態になります。
- ・ DVD 再生中のスライダーが、コマンドノブで操作できます。コマンドノブを上方向に倒してスライダーを選択します。
- ・ DVD-VR 方式で記録したディスクの再生時は、メニュー表示されないことがあります。

コントローラー

スライダー




ペアレンタルロック (視聴制限設定)

DVD には視聴制限レベルが設定されたものがあります。

DVD の視聴制限レベルがオーディオ側で設定した設定レベル以上の場合は、再生できません。視聴制限レベル変更、PIN コード編集、PIN コードリセットを設定することができます。

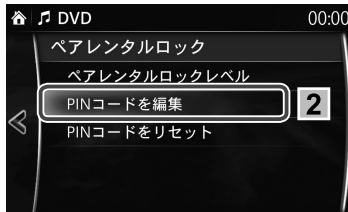
PIN コードを設定する

視聴制限機能を使用するには、まず PIN コードを設定する必要があります。

1.  を選択します。




2. **PINコードを編集** を選択します。




3. テンキーを使用して PIN コードを入力します。



4.  を選択します。

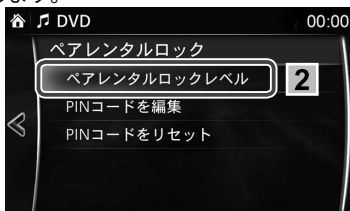
視聴制限レベルを変更する

視聴制限機能を使用するには、まず PIN コードを設定する必要があります。

1.  を選択します。




2. **ペアレンタルロックレベル** を選択します。



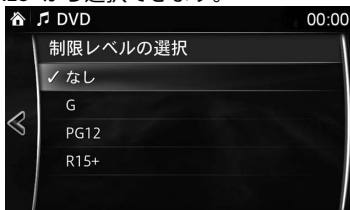
3. テンキーを使用して PIN コードを入力します。



4.  を選択します。
5. 視聴制限レベルを選択します。


知識

制限レベルは、なし、G、PG12、R15+から選択できます。



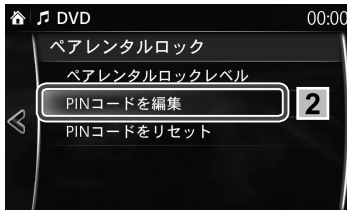
PIN コードを編集する

視聴制限機能を使用するには、まず PIN コードを設定する必要があります。

1.  を選択します。



2. **PINコードを編集** を選択します。




3. テンキーを使用して PIN コードを入力します。



4.  を選択します。
5. テンキーを使用して新しい PIN コードを入力します。
6.  を選択します。

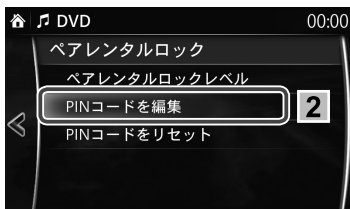
PIN コードをリセットする

登録した PIN コードを忘れたときは、工場初期設定時の PIN コード [0000] を入力することでリセットできます。

1.  を選択します。





2. **PINコードを編集** を選択します。



3. テンキーを使用して工場初期設定時の PIN コード [0000] を入力します。



4.  を選択します。
5. テンキーを使用して新しい PIN コードを入力します。
6.  を選択します。

ロックされた DVD を再生する

再生しようとしている DVD が設定した視聴制限によってロックされた場合は、PIN コードを入力して解除します。

1. ロックされた DVD を再生すると、PIN コード入力画面が表示されます。
2. テンキーを使用して PIN コードを入力します。




3. ✓を選択すると、再生を開始します。

DVDの各種機能を設定する

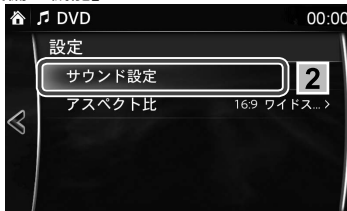
音質とアスペクト比を設定することができます。

音質を設定する

1. を選択します。




2. **サウンド設定**を選択すると、音質設定画面を表示します。
→2-129 ページ「その他の装備・機能」



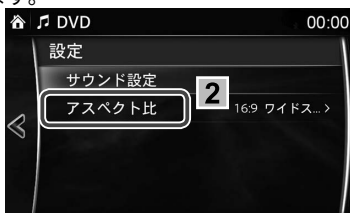
音量 / 画面 / 音質の調節

アスペクト比を設定する

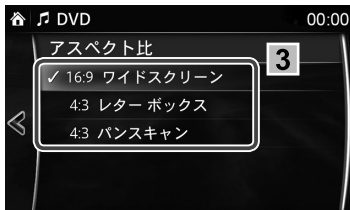
1. を選択します。



2. **アスペクト比**を選択します。




3. アスペクト比を選択します。



画質を設定する

画面の明るさ、コントラスト、色合い、色の濃さを設定することができます。

1. を選択すると、画面の下部に次のタブが表示されます。

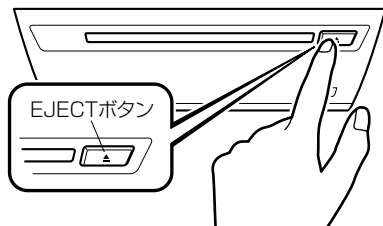


タブ	説明
明るさ	スライダーで画面の明るさを調節します。
コントラスト	スライダーで画面のコントラストを調節します。
色合い	スライダーで画面の色合いを調節します。
色の濃さ	スライダーで画面の色の濃さを調節します。
リセット	画面設定を初期値にもどします。 リセット を選択します。

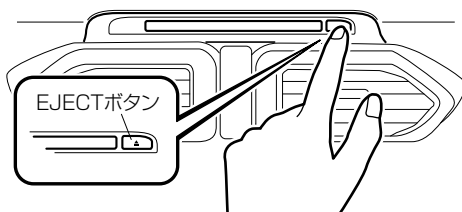
DVD を取り出すとき

1. ▲ボタンを押します。

Aタイプ

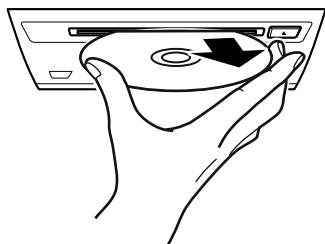


Bタイプ

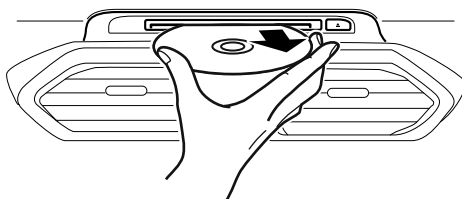


2. DVD の端を持って取り出します。

Aタイプ



Bタイプ



知識

DVD を取り出すと、DVD の前に再生していたオーディオソースに移動します。

AUX

⚠ 警告

AUX 端子に接続したコードが、セレクトレバー (オートマチック車)、チェンジレバー (マニュアル車) に絡まないようにする。
運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

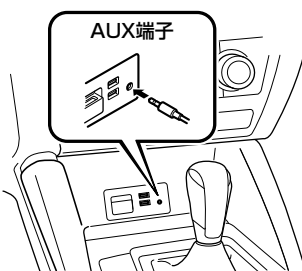
プラグを接続した状態で、AUX 端子の上やコンソールボックスのフタの上に物を乗せたり、大きな力を加えたりしないでください。
接続する機器によっては、車に装着されている電源ソケットを使用すると、再生時にノイズが発生することがあります (ノイズが発生した場合は電源ソケットを使用しないでください)。

📖 知識

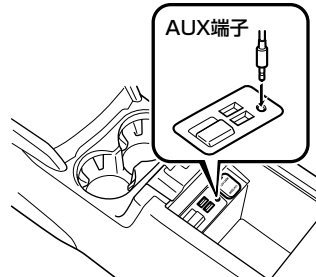
- ・ 接続する機器によっては、使用できない場合があります。
- ・ ご使用前に、市販のポータブルオーディオの取扱書をよくお読みください。
- ・ ポータブルオーディオを AUX 端子に接続するための接続コードは、市販の抵抗なしのステレオミニプラグ (3.5φ) を使用してください。ご使用前に接続コードの取扱書をよくお読みください。
- ・ エンジンを止めたままで、オーディオを長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。
- ・ 接続する機器によっては、ノイズが発生することがあります。
- ・ 接続する機器の電源は、ポータブルオーディオ機器のバッテリーなどを使用してください。
- ・ プラグは AUX 端子に確実に差し込んでください。

機器を接続する

Aタイプ
(インストルメントパネル取り付けタイプ)



Bタイプ
(コンソールボックス取り付けタイプ)




AUX 端子の位置は車種により異なります。

📖 知識



プラグの抜き差しは、AUX 端子の穴に対して垂直に行なってください。

音楽を再生する

1. ホーム画面の  を選択して、エンターテイメント画面を表示します。
2. **AUX** を選択すると、画面の下部に表に示すアイコンが表示されます。



AUX 機器再生画面

アイコン	説明	音声コマンド
	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	—
	音質を調節します。 →2-129 ページ「その他の装備・機能」	—

知識

- ・ 機器が AUX 端子に接続されていないときは、AUX モードには切り替わりません。
- ・ 音量調節は、ポータブルオーディオ本体およびコマンドスイッチ、またはオーディオリモートコントロールスイッチで行います。
- ・ 音量調節以外の操作は、ポータブルオーディオ本体で行います。センターディスプレイやコマンドスイッチでは操作できません。
- ・ AUX モード中に AUX 端子からコードを抜いたり、接続している機器側のプラグを抜いたりするとノイズが発生することがあります。

Aha™

Aha™¹ は、インターネットラジオや Podcast など、様々なインターネット・コンテンツを利用することができるアプリケーションです。

Facebook や Twitter の一部機能を使用することもできます。

周辺情報サービスを利用して周辺の目的地を探したり、リアルタイムの周辺情報を入手することができます。



Aha™によって提供されるサービスの内容は、予告なく Aha™によって変更される場合があります。

*1 Aha™、Aha™ロゴおよび Aha™トレードドレスは Harman International Industries, Inc.の商標、または登録商標です。

知識

- ・ Aha™を操作する前に、次の手続きを行ってください：
 - ・ 機器に Aha™アプリケーションをインストールする。
 - ・ 機器で Aha™アカウントを作成する。
 - ・ 機器で Aha™にログインする。
 - ・ 機器でプリセットステーションを設定する。
- ・ 機器側でアプリケーション画面を表示していない場合、マツダコネクで Aha™の再生ができないことがあります。



再生

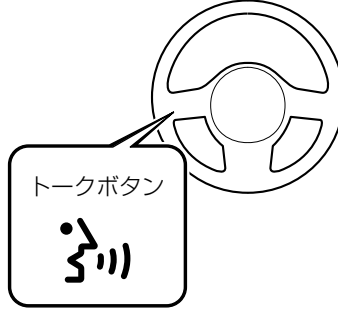
1. ホーム画面から  を選択します。
最後に使用したオーディオソースの再生画面が表示されます。
2. アイコン左端の  ボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。
3. **aha** を選択すると、画面の下部に次のアイコンが表示されます。選択するステーションによって、表示されるアイコンは異なります。



4. また、次のアイコン以外が表示される場合もあります。

音声認識機能が使えます







1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタンを押します。
(音声ガイドが流れ、最後にと鳴った後に発話します。)



2. 「Aha (アハ)」と発話します。
その他の音声認識コマンドはメニュー説明の音声コマンド欄をご参照ください。

知識

音声コマンドとして「ヘルプ」と発話すると、使用可能な音声コマンドが案内されます。

アイコン	説明	音声コマンド*1
	エンターテイメントメニューを表示します。他のエンターテイメントソースに切り替えたいときに使います。	エンターテイメント
	メインメニューを表示します。 他のステーションに切り替えたいときに使います。	メインリスト
	コンテンツリストを表示します。 ステーション内の、他のコンテンツに切り替えたいときに使います。	リスト
	Like*2 現在のコンテンツを“Like (好き)”評価します。	Like
	Dislike*2 現在のコンテンツを“Dislike (嫌い)”評価します。	Dislike
	15 秒巻きもどします。	15 秒戻る


アイコン	説明	音声コマンド*1
	地図 (ナビゲーションシステム装備車のみ) 周辺情報サービスを利用して検索した目的地を、ナビゲーションシステム上に表示します。	—
	電話発信 周辺情報サービスを利用して検索した店などに、電話をかけることができます。 接続している機器が、ハンズフリーとして接続されている場合に、使用できます。	—
	前のコンテンツにもどります。	前の
	 (一時停止中に選択すると) 曲を再生します。	再生
	 (再生中に選択すると) 一時停止します。	一時停止
	次のコンテンツに進みます。	次の
	30 秒早送りをします。	30 秒進む
	音質を調節します。 →2-129 ページ「その他の装備・機能」	サウンド設定

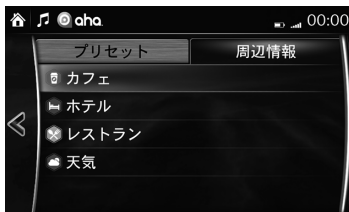
*1 音声認識機能が使えます。

「ヘルプ」と発話すると使用可能な音声コマンドが表示されます。

*2 ステーションやプロバイダーによっては、違うタイプの「Like」、「Dislike」を使用しています。

メインメニュー

 を選択します。



タブを切り替えてステーションのカテゴリを選択します。

タイプ	再生できるデータ
プリセット	機器で設定したプリセットステーションリストを表示します。プリセットステーション名を選択すると、そのステーションの内容が再生されます。
周辺情報	ステーションリストから好みのステーションを選択します。検索された、自車位置周辺の目的地へ案内します。事前に機器でフィルタ設定することで、好みのカテゴリを指定することができます。




知識

- ・周辺情報サービスは、Aha™が提供する内容に依存するため、利用可能なサービスが異なる場合があります。
- ・視聴する番組によってメニュー表示は異なる場合があります。

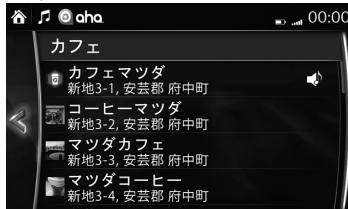
使用例 (周辺情報)

- ・メインメニューの周辺情報タブから、好みのステーションを選択します。検索された目的地の順番で、目的地名や住所などの再生が始まります。



- ・を選択すると、現在表示されている目的地をナビゲーションシステム上に表示します (ナビゲーションシステム装備車のみ)。
- ・を選択すると、現在表示されている目的地の電話番号に電話をかけます。
- ・を選択すると、コンテンツリストを表示します。

一覧から他の目的地を選択できます。



Stitcher™ラジオ

Stitcher™*1 ラジオとは

Stitcher™ラジオは、インターネットラジオや Podcast などのストリーミング放送を聴くことのできるアプリケーションです。




気に入ったコンテンツをお気に入り登録したり、“Like”または“Dislike”することで、自動的にお勧めのコンテンツを選択してくれます。

*1 Stitcher™、Stitcher™ロゴおよび Stitcher™トレードドレスは Stitcher, Inc.の商標、または商標登録です。

知識



- ・スマートフォンの Stitcher™ラジオアプリケーションの都合により、Stitcher™ラジオアプリケーション version 10 以降ではマツダコネクトとの接続サービスが利用できなくなりました。Apple CarPlay/Android Auto™を利用した連携機能は利用可能です。また、その他の接続サービスについてもスマートフォンのアプリケーションの変更によりサービスが変更されることがあります。
- ・Bluetooth®の Stitcher™ラジオを操作する前に、次の手続きを行ってください：
 - ・機器に Stitcher™ラジオアプリケーションをインストールする。
 - ・機器で Stitcher™ラジオアカウントを作成する。
 - ・機器で Stitcher™ラジオにログインする。
 - ・機器でプリセットステーションを設定する。
- ・機器側でアプリケーション画面を表示していない場合、マツダコネクトで Stitcher™ラジオの再生ができないことがあります。

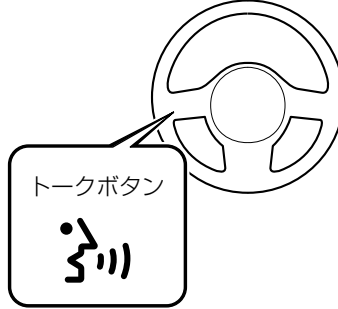
再生

1. ホーム画面からを選択します。
最後に使用したオーディオソースの再生画面が表示されます。
2. アイコン左端のボタンを選択すると、エンターテイメントメニューが表示されます。
3. を選択すると、画面の下部に次のアイコンが表示されます。



 音声認識機能が使えます

1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタンを押します。
(音声ガイドが流れ、最後にと鳴った後に発話します。)



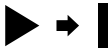




2. 「Stitcher (スティッチャー)」と発話します。
その他の音声認識コマンドはメニュー説明の音声コマンド欄をご参照ください。

 知識

音声コマンドとして「ヘルプ」と発話すると、使用可能な音声コマンドが案内されます。

アイコン	説明	音声コマンド*1
	エンターテインメントメニューを表示します。他のエンターテインメントソースに切り替えたいときに使います。	エンターテインメント
	放送局リストを表示します。 他の放送局に切り替えたいときに使います。	放送局
	Dislike 再生中の番組を“Dislike (嫌い)”評価します。	Dislike
	Like 再生中の番組を“Like (好き)”評価します。	Like
	再生中の放送局を、お気に入りに追加、またはお気に入りから削除します。	お気に入りに追加
	30 秒巻きもどします。	30 秒戻る


アイコン	説明	音声コマンド*1
	 (一時停止中に選択すると) 曲を再生します。	再生
	 (再生中に選択すると) 一時停止します。	一時停止
	次の放送局に進みます。	次の
	音質を調節します。 →2-129 ページ「その他の装備・機能」	サウンド設定

*1 音声認識機能が使えます。
「ヘルプ」と発話すると使用可能な音声コマンドが表示されます。

知識

視聴する番組によってメニュー表示は異なる場合があります。

放送局リスト

-  を選択すると、ステーションリストが表示されます。
 - ① お気に入り放送局名: 選択すると、お気に入りに登録されている番組が表示されます
 - ② カテゴリ名: Stitcher™があなたの好みから選択した、お勧めのカテゴリが表示されます。選択すると、そのカテゴリの番組が表示されます。



- 放送局名を選択すると、再生します。

お気に入りに追加する

再生中の番組が、お気に入りに登録されていない場合、お気に入りに登録することができます。

- ★を選択して、登録を追加できるお気に入り放送局を表示します。



- Favorites Playlistを選択します。



- 登録を選択し、お気に入りステーションに番組を追加します。



知識

- ・ 複数のお気に入り放送局を選択して、登録することができます。
- ・ 自分で登録したお気に入り放送局だけでなく、デフォルト設定のお気に入りステーションも表示されます。

お気に入りから削除する

再生中の番組が、既にお気に入りに登録されている場合、お気に入りから削除することができます。

1. ★を選択して、お気に入りから削除します。



コミュニケーション

スマートフォンなどの携帯機器とマツダコネクトを Bluetooth®で接続することで、ハンズフリー通話やショートメッセージ機能をご利用いただけます。

Bluetooth®ハンズフリー

概要

車両の Bluetooth®ユニットに電波送信で Bluetooth®機器 (携帯電話) を接続すると、オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン、ピックアップボタン、ハングアップボタン、またはセンターディスプレイでの操作により、電話に出たり電話をかけたることができます。

→2-101 ページ「電話のかけかた」

知識

- ・ Bluetooth®機器によっては使用できない場合があります。対応する Bluetooth®機器の情報はマツダ販売店に問い合わせください。
- ・ 安全のため、車両が停止しているときのみペアリング (登録) することができます。車両が発進すると、ペアリングは中断されます。ペアリングを行う前に、安全な場所に車両を止めてください。
- ・ Bluetooth®機器の通信可能距離は約 10 メートル以内です。
- ・ 本機で接続確認済み機種はマツダコネクトサポートページで情報公開しています。

対応 Bluetooth®規格 (推奨)

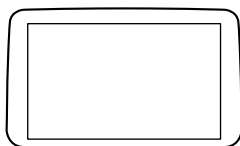
Ver. 1.1/1.2/2.0 + EDR/2.1 + EDR/3.0 (適合)

および Bluetooth® Ver3.0 と互換性のあるもの。

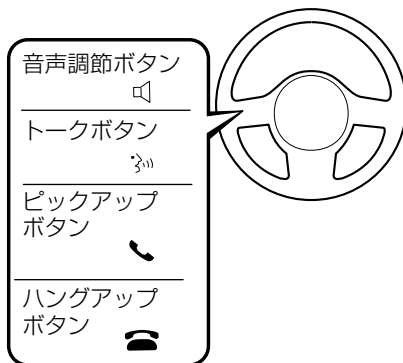
構成部品

オーディオや各スイッチの形状は車種により異なります。

オーディオ

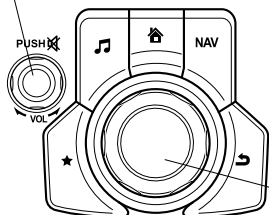


オーディオリモートコントロールスイッチ



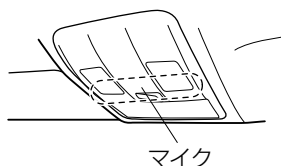
コマンダースイッチ

音量ノブ



コマンダーノブ

マイク



マイク (ハンズフリー)

マイクは音声認識での音声コマンド入力や、ハンズフリー通話に使用します。

トークボタン

音声認識を起動します。
また音声ガイダンスをスキップします。

ピックアップボタン

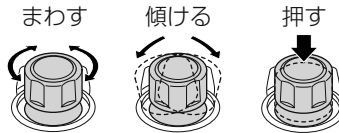
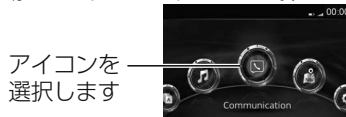
電話着信に応答します。
また電話発信操作の最後に押すと、電話を発信します。

ハングアップボタン


通話を終了したり、電話着信を拒否します。
また音声認識操作を終了します。

コマンドスイッチ

コマンドスイッチは音量の調節とセンターディスプレイの操作に使います。コマンドノブを傾ける、またはまわしてカーソルを移動します。コマンドノブを押して、アイコンを選択します。



音量の調節

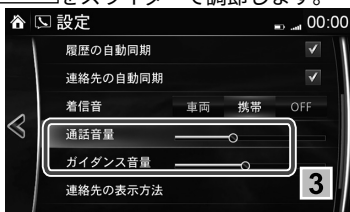
1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。



2. **設定**を選択します。



3. **通話音量**と**ガイダンス音量**をスライダーで調節します。



知識

- ・ コマンドスイッチの音量ノブをまわして、音量を調節します。右へまわすと音量が大きくなり、左へまわすと音量が小さくなります。音量はオーディオリモートコントロールスイッチの音量調節ボタンを操作することでも調節できます。音量ノブを押すと消音できます。もう一度音量ノブを押すと、もとにもどります。
- ・ 他のオーディオモードと比べて、音量が小さいと感じた場合は、機器側の音量を上げてください。
- ・ ハンズフリー通話中や音声ガイダンスなど大きくしたいシーンで操作してください。

▼ 電話のかけかた



マツダコネクトでは、次の6つの方法から電話をかけることができます。

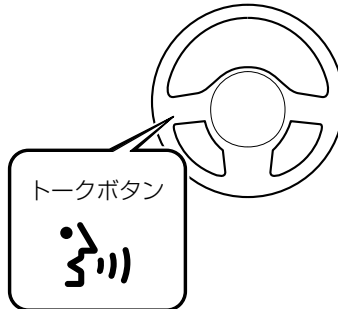
- ・ Bluetooth®機器 (携帯電話) からダウンロードした電話帳 (音声認識機能が使えます)
- ・ お気に入り
- ・ 履歴
- ・ 電話番号ダイヤル (音声認識機能が使えます)
- ・ 「リダイヤル」 - 最新の発信履歴に電話をかける音声認識コマンド。
- ・ 「コールバック」 - 最新の着信履歴に電話をかける音声認識コマンド。

連絡先 (電話帳) を利用して電話する

音声での操作

ダウンロードされた電話帳、または電話番号が登録された人物の中から、連絡先を発話することによって発信することができます。


1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタンを押します。
2. という音が鳴るまで待ちます。
3. 発話: (例) 「マツダ タロウの携帯に電話」 (マツダ タロウという人物が Bluetooth®機器の電話帳に登録されている場合)
電話帳の登録内容により、「携帯」、「自宅」、「勤務先」、または「その他」から発信する電話番号を使いわたることができます。
4. 電話を発信するために、音声ガイダンスに従ってください。
また、音声ガイダンス中にピックアップボタンを押して、電話を発信することもできます。

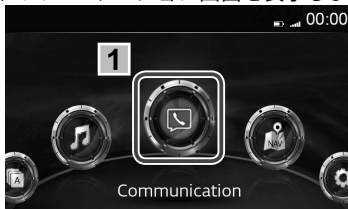


知識

- ・ 事前にダウンロードしておいた連絡先を利用して電話をかけます。
→2-107 ページ「電話帳をダウンロードする」
- ・ Bluetooth®機器側の電話帳にふりがな情報が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼び出すことができません。
- ・ 電話帳に登録されている、ふりがな情報通りに発話してください。

センターディスプレイでの操作

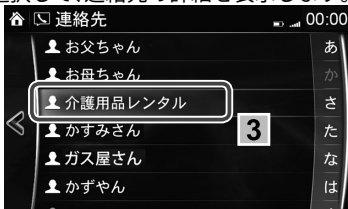
1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。



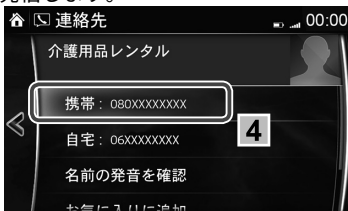
2. **連絡先**を選択して、連絡先リストを表示します。




3. 電話を発信したい連絡先を選択して、連絡先の詳細を表示します。

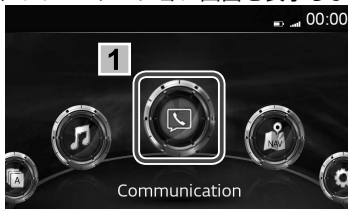


4. 電話番号を選択して、電話を発信します。



お気に入りから電話を発信する

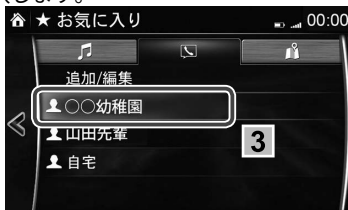
1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



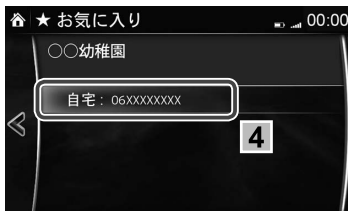
2. **お気に入り** を選択して、お気に入り一覧を表示します。




3. 電話したい連絡先情報を選択します。

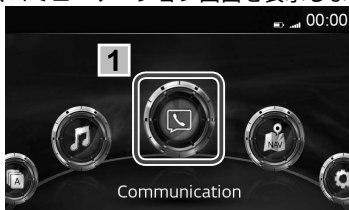


4. 電話番号を選択します。



電話番号を入力して電話する

1. ホーム画面のを選択して、コミュニケーション画面を表示します。



2. **ダイヤル**を押すとダイヤルパッドが表示されます。






3. ダイヤルパッドを使って電話番号を入力します。

4. を選択して電話を発信します。



知識



- ・ を選択すると、ひとつ前の入力番号を削除します。
- ・ を長押しすると、すべての入力番号を削除します。
- ・ を長押しすると、**+**を入力できます。

履歴 (発信履歴、着信履歴) を利用して電話をかける

音声での操作



・リダイヤル

携帯電話/車両から、最後に電話をかけた相手 (発信履歴の最新の人物) に電話を発信します。


1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン  を押します。
2.  という音が鳴るまで待ちます。
3. 発話: 「リダイヤル」

・コールバック

携帯電話/車両に対し、最後に電話をかけてきた相手 (着信履歴の最新の人物) に電話を発信します。

1. オーディオリモートコントロールスイッチのトークボタン  を押します。
2.  という音が鳴るまで待ちます。
3. 発話: 「コールバック」

センターディスプレイでの操作

ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面から履歴を選択します。



・発信履歴から電話する (すべて)

すべての履歴が表示され、電話をする相手先を選択します。




・不在着信履歴から電話する (不在着信)


不在着信履歴が表示され、電話をする相手先を選択します。

▼ 電話の受けかた

「着信通知」の設定が On になっているときに、電話の着信があると、着信通知画面が表示されます。
→2-119 ページ「コミュニケーション設定」

通話を開始するには、オーディオリモートコントロールスイッチのピックアップボタン  を押すか画面上の **応答** を選択します。



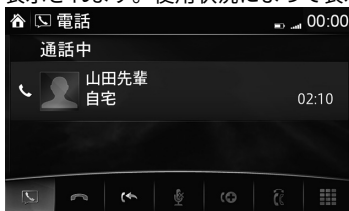
着信を拒否するには、オーディオリモートコントロールスイッチのハンガアップボタン  を押すか画面上の **拒否** を選択します。




知識







着信通知を OFF に設定すると、着信通知画面が表示されずかかってきた電話は着信拒否されます。
→2-119 ページ「コミュニケーション設定」

▼ 通話中にできること

通話中画面には、次のアイコンが表示されます。使用状況によって表示されるアイコンは異なります。



アイコン	説明
	コミュニケーションメニューを表示します。
	通話を終了します。
	ハンズフリーから携帯電話に電話を転送する 本機と Bluetooth®機器の間の通信が取り消され、通常の電話として機器 (携帯電話) 側で受けるように切り替えます。

アイコン	説明
	機器 (携帯電話) からハンズフリーに電話を転送する 機器 (携帯電話) と接続し、Bluetooth®ハンズフリーの通話に切り替えます。
	通話中にマイクを消音することができます。 もう一度選択すると解除されます。
	通話中に別の相手に発信して三者通話ができます。次の中から連絡先を選択して発信します。 履歴 : 通話履歴が表示されます。 連絡先 : 電話帳が表示されます。 ダイヤル : ダイヤルパッドが表示されます。電話番号を入力します。 機器の契約内容によっては使用できない場合があります。
	保留中の通話が合流し、三者通話になります。 機器の契約内容によっては使用できない場合があります。
	保留中の通話を切り替えます。
	DTMF (Dual Tone Multi-Frequency Signal) 送信 ダイヤルパッドで DTMF を送信する場合、この機能を使用します。 一般的に、DTMF 送信を要求するものは家庭用電話の留守番電話、または会社の自動ガイダンスコールセンターです。

▼ 電話帳をダウンロードする

Bluetooth®を使用することで、Bluetooth®機器から電話帳のデータを本機の連絡先に登録することができます。


自動ダウンロード

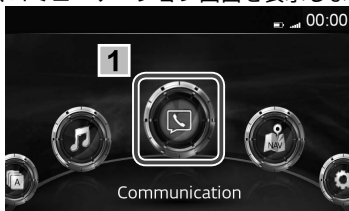
「連絡先の自動同期」の設定が On になっている場合は、Bluetooth®機器が接続されたときに自動的にダウンロードされます。

→2-119 ページ「コミュニケーション設定」

手動ダウンロード

「連絡先の自動同期」の設定が Off の場合、次の手順で電話帳のダウンロードを行います。

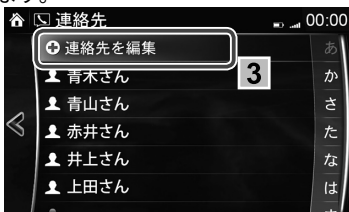
1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



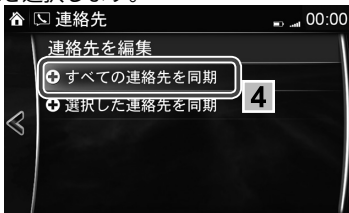
2. **連絡先** を選択して、連絡先リストを表示します。



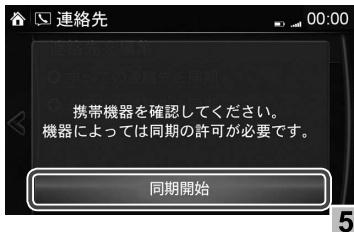
3. **連絡先を編集** を選択します。



4. **すべての連絡先を同期** を選択します。



5. **同期開始** を選択します。



📖 知識

- ・ 電話帳のダウンロードは、Bluetooth®の PBAP プロファイルを使用します。お使いの Bluetooth®機器が対応しているかは、マツダコネクテサポートページをご確認ください。
- ・ 本機は Bluetooth®の OPP プロファイルにも対応しており、PBAP プロファイルを持たない Bluetooth®機器でも電話帳転送ができます。PBAP プロファイルを持たない Bluetooth®機器で電話帳転送をするときは、手順 4 で「選択した連絡先を同期」を選択したあと、Bluetooth®機器の操作を行い電話帳データを送信してください。詳しくは Bluetooth®機器の取扱書をご参照ください。
- ・ 最大 1000 件までの連絡先を登録することができます。
- ・ 電話帳、着信/発信履歴、およびお気に入りメモリは、プライバシーを保護するために、ペアリングした Bluetooth®機器ごとに独立して保存しています。
- ・ Bluetooth®機器から電話帳をダウンロードするには、本機での操作の他に、Bluetooth®機器側の操作が必要になる場合があります。詳しくは Bluetooth®機器の取扱書をご参照ください。
- ・ 電話番号のない連絡先は登録しません。


▼ 連絡先をお気に入り登録する

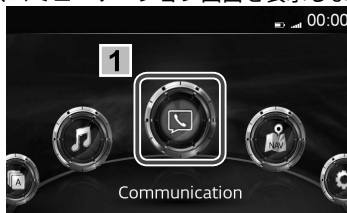
最大 50 件の連絡先を登録することができます。電話番号を登録すると、電話帳の中から電話したい人を探す必要がなく、より早く電話を発信することができます。

📖 知識

事前に連絡先を入力(電話帳をダウンロード)する必要があります。
→2-107 ページ「電話帳をダウンロードする」

お気に入りに登録する

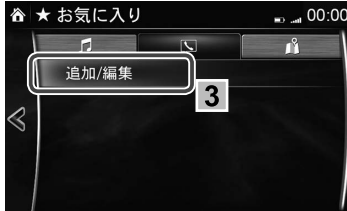
1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



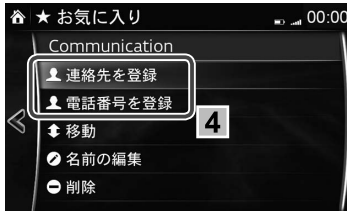
2. **お気に入り** を選択して、お気に入り一覧を表示します。



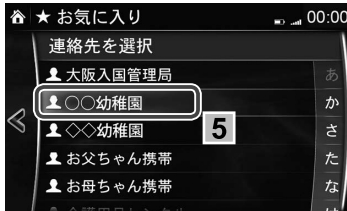
3. **追加/編集**を選択します。



4. **連絡先を登録**または**電話番号を登録**を選択します。




5. 表示されたリスト一覧から**連絡先**を選択します。

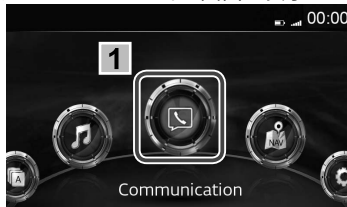


知識

- ・ バッテリーを切り離しても、お気に入りリストは消去されません。
- ・ 「連絡先を登録」を選択すると、選択した人の名前などの情報も含め登録されます。また、「電話番号を登録」を選択すると、選択した人の電話番号のみ登録されます。

お気に入りから削除する

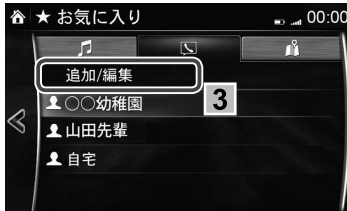
1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



2. **お気に入り**を選択して、お気に入り一覧を表示します。



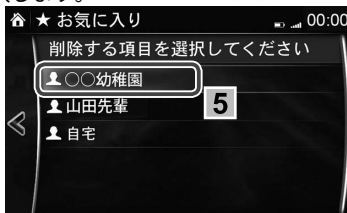
3. **追加/編集**を選択します。



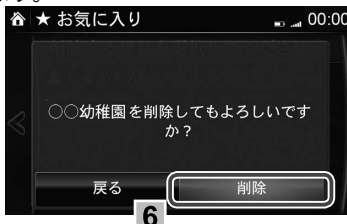
4. **削除**を選択します。




5. 削除したい連絡先情報を選択します。

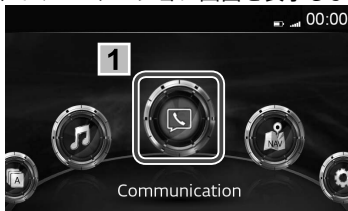


6. 確認画面で**削除**を選択します。



お気に入り一覧の表示順を変更する

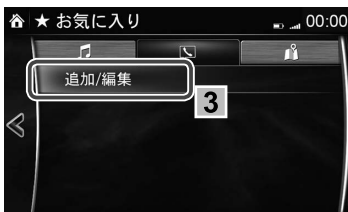
1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



2. **お気に入り** を選択して、お気に入り一覧を表示します。



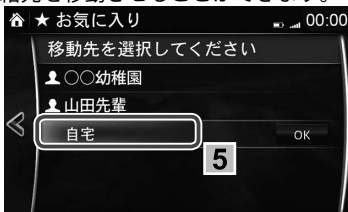
3. **追加/編集** を選択します。



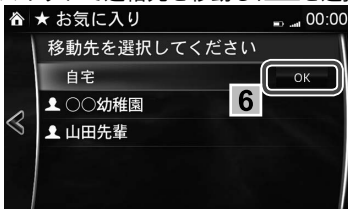
4. **移動** を選択します。




5. 連絡先を選択すると、その連絡先を移動させることができます。

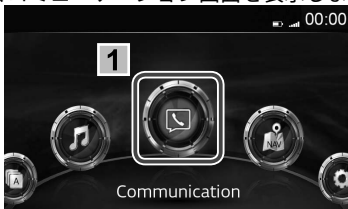


6. スライド、またはコマンドースイッチで連絡先を移動し、**OK**を選択します。



お気に入りの連絡先名を変更する

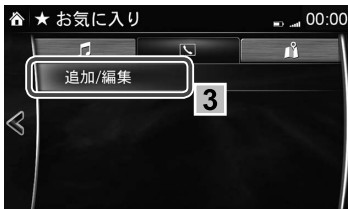
1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



2. **お気に入り** を選択して、お気に入り一覧を表示します。



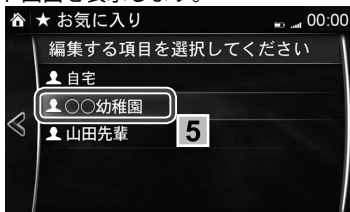
3. **追加/編集** を選択します。



4. **名前の編集** を選択します。



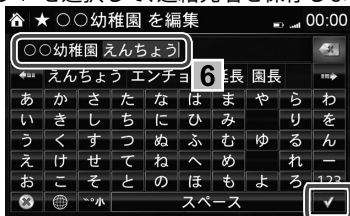
5. 連絡先を選択して、キーボード画面を表示します。



知識

連絡先を長押しすると、長押しした連絡先の追加/編集メニューが表示されます。

6. 変更したい連絡先名を入力し✓を選択して、連絡先名を保存します。



▼ メッセージの受信と返信

接続している Bluetooth®機器が受信した SMS(Short Message Service)メッセージをダウンロードしてセンターディスプレイに表示したり、人工音声で読みあげることがができます。また、受信したメッセージに定型文を返信したり、その番号に電話することができます。

知識

ご使用の Bluetooth®機器によっては Bluetooth®機器での設定が必要です。

メッセージをダウンロードする


接続している Bluetooth®機器から、最新 20 件までのメッセージをダウンロードし、表示することができます。

自動ダウンロード

「SMS の自動同期」の設定が On になっている場合、Bluetooth®機器が接続されたときに自動的にダウンロードされます。→2-119 ページ「コミュニケーション設定」

手動ダウンロード

「SMS の自動同期」の設定が Off の場合、次の手順でメッセージのダウンロードを行います。

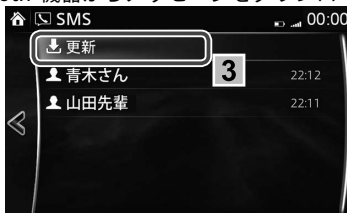
1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



2. **SMS** を選択して、受信トレイを表示します。



3. **更新** を選択すると、Bluetooth®機器からメッセージをダウンロードします。



知識

- ・添付データはダウンロードされません。
- ・140 バイトまでのメッセージをダウンロードできます。
- ・プライバシーを保護するために、ペアリングした Bluetooth®機器ごとに独立して保存しています。
- ・ショートメッセージ機能は Bluetooth®の MAP プロファイルを使用します。お使いの Bluetooth®機器が対応しているかは、マツダコネクテッドサポートページをご確認ください。
- ・Bluetooth®機器からメッセージの受信と返信をおこなうには、本機での操作の他に Bluetooth®機器側の操作や設定が必要になる場合があります。詳しくは Bluetooth®機器の取扱書をご参照ください。


iPhone の場合

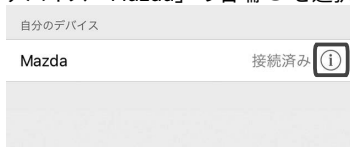
知識

- ・ iPhone を接続する場合、機種によっては、次の機能は利用できません。
 - ・ 過去メッセージのダウンロード
 - ・ メッセージへの返信

ペアリング済みで接続されている状態から次の操作をおこないます。

1. (iPhone 操作)

設定メニュー→Bluetooth→デバイス「Mazda」の右端  を選択します。



2. (iPhone 操作)

「通知を表示」項目の設定を ON に設定します。



3. (本機の操作)

Bluetooth®を OFF にします。



4. (本機の操作)

再度 Bluetooth®を ON にして、iPhone が自動的に再接続されるのを待ちます。



5. (本機の操作)

iPhone 接続後、**SMS** が選択できればご利用可能です。



メッセージを受信したとき

「メッセージ新着通知」の設定が On になっているときに、Bluetooth®機器がメッセージを受信すると、メッセージ受信通知が表示されます。




→2-119 ページ「コミュニケーション設定」

読む を選択すると、メッセージが表示されます。



メッセージ詳細の下に、次のアイコンが表示されます。使用状況によって表示されるアイコンは異なります。


アイコン	説明
	コミュニケーションメニューを表示します。
	受信トレイを表示します。
	表示中の受信メッセージを音声再生します。 もう一度選択すると一時停止します。
	前のメッセージを表示します。
	次のメッセージを表示します。

アイコン	説明
	表示中の受信メッセージの送信者のみに返信します。 表示された返信画面の本文を選択して、送信する文章を定型文から選択します。 送信 を選択します。
	表示中の受信メッセージの送信者に電話をかけます。 送信者の電話番号が非通知の場合は、電話を発信することができません。
	表示中の受信メッセージを削除します。 機器に保存されているメッセージも削除されます。

知識

定型文は、最大3つまで選択できます。

定型文を編集する

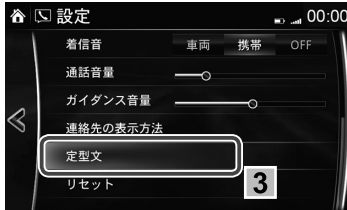
1. ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。



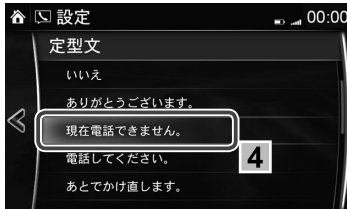
2. **設定** を選択します。



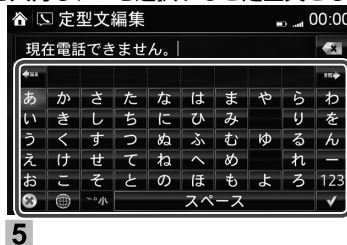
3. **定型文**を選択します。





4. 編集したい定型文を選択します。キーボード画面が表示されます。




5. 変更したいメッセージ内容を入力し、✓を選択すると定型文として保存されます。



📖 知識

- ・  を選択すると、言語を変更します。
- ・  を選択すると、編集を保存せずに前の画面にもどります。

▼ コミュニケーション設定

ホーム画面の  を選択して、コミュニケーション画面を表示します。 **設定** を選択して、設定を変更します。



アイテム	設定	説明
Bluetooth	—	Bluetooth®機器の接続設定をします。 →2-129 ページ「その他の装備・機能」
着信通知	オン/オフ	電話の着信があったときに、通知します。 →2-106 ページ「電話の受けかた」
SMS の自動同期*1	オン/オフ	Bluetooth®機器が接続されたとき、自動的にSMS をダウンロードします。 →2-114 ページ「メッセージの受信と返信」
メッセージ新着通知	オン/オフ	新たにメッセージを受信したときに、通知します。 →2-114 ページ「メッセージの受信と返信」
履歴の自動同期*1	オン/オフ	Bluetooth®機器が接続されたとき、自動的に通話履歴をダウンロードします。
連絡先の自動同期*1	オン/オフ	Bluetooth®機器が接続されたとき、自動的に電話帳をダウンロードします。 →2-107 ページ「電話帳をダウンロードする」
着信音	車両/携帯/オフ	着信音の種類を変更します。車両に標準設定されている着信音、Bluetooth®機器に登録されている着信音、着信音なしの3種類から選択できます。
通話音量	スライダーで調節します。	通話音量を調節します。 →2-98 ページ「Bluetooth®ハンズフリー」
ガイダンス音量	—	音声ガイダンスと着信音量を調節します。 →2-98 ページ「Bluetooth®ハンズフリー」
連絡先の表示方法	名前、苗字	連絡先の表示順を名前で並び替えます。
	苗字、名前	連絡先の表示順を苗字で並び替えます。
定型文	—	定型文を編集します。 →2-114 ページ「メッセージの受信と返信」
リセット	—	コミュニケーション設定が全て初期化されず。

*1 Bluetooth®機器でダウンロードに対する許可操作が必要な場合があります。

ナビゲーション

ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれている場合に、ナビゲーションシステムが使用できません (ナビゲーションシステム装備車)。

ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。コンパスは、車両停車時、または低速走行時には、正しい方位を示さない場合があります。

ナビゲーションシステムの操作については、ナビゲーションシステム取扱書をご覧ください。

設定変更可能なシステム/装備一覧

機能の設定をお客様の好みに応じて変更することができます。

- ・変更できる機能および内容は車両の仕様により異なります。
- ・変更できる機能および内容はソフトアップデートにより予告なしに変更される可能性があります。

次の機能の設定をお客様自身、またはマツダ販売店で変更することができます。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

安全装備

- ・ブラインド・スポット・モニタリング (BSM)
- ・交通標識認識システム (TSR)
- ・車間認知支援システム
- ・ドライバー・アテンション・アラート (DAA)
- ・車線逸脱警報システム
- ・レーンキープ・アシスト・システム (LAS) & 車線逸脱警報システム
- ・アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS)
- ・スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R)
- ・スマート・ブレーキ・サポート (SBS)
- ・パーキングセンサー
- ・360°ビュー・モニター

車両装備


- ・オートワイパー機能
- ・電波式キーレスエントリーシステム
- ・車速感応式オートドアロック
- ・イルミネテッドエントリーシステム
- ・方向指示器
- ・スリーフラッシュターンシグナル
- ・オートライト機能
- ・AFS (アダプティブフロントライティングシステム)
- ・ハイ・ビーム・コントロール・システム (HBC)
- ・アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH)
- ・ランプ消し忘れ防止チャイム
- ・カミング・ホーム・ライト
- ・リービング・ホーム・ライト
- ・アンビエントライト

その他の装備・機能

- ・アドバンストキーレスエントリー
- ・アクティブ・ドライビング・ディスプレイ
- ・燃費モニター
- ・インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)
- ・画面
- ・音質
- ・時計
- ・通信
- ・各システム
- ・リアウインドーデフォグガー (曇り取り)

安全装備

設定変更方法

1. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
2. タブを [安全装備] に切り替えて、設定を変更したいアイテムを選択します。

機能と変更内容		
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM)		
作動/非作動*1	ON/OFF	
警報チャイム音量*2	大/小/OFF	
交通標識認識システム (TSR)		
作動/非作動*1	ON/OFF	
速度超過警報の警報パターン	OFF/表示のみ/表示 + ブザー	
速度超過警報の警報タイミング	+0 km/h/ +5 km/h/ +10 km/h	
車間認知支援システム		
作動/非作動*1	ON/OFF	
ディスプレイで、前方車に近づきすぎたことを知らせる距離	近い/中間/遠い	
ドライバー・アテンション・アラート (DAA)		
作動/非作動*1	ON/OFF	
車線逸脱警報システム		
車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断する距離	自動/近い/標準/遠い	
警報感度 (警報しやすさ)	高い/標準/低い	
ビーブ音	ビーブ音/ランブル音	
車線逸脱警報の音量の変更	ビーブ音	大/小
	ランブル音	大/中/小

機能と変更内容


機能と変更内容		
レーンキープ・アシスト・システム (LAS) & 車線逸脱警報システム		
ハンドル操作アシストの作動/非作動		ON/OFF
ハンドル操作の アシストが ON のとき	ハンドル操作のアシストを 行なうタイミング	早い/遅い
	アシスト感度	低い/標準/高い
	車線逸脱警報音の作動/非作 動	ON/OFF
ハンドル操作の アシストが OFF のとき	車線から逸脱する可能性が あるとシステムが判断する タイミング	自動/早い/標準/遅い
	警報感度	高い/標準/低い
車線逸脱警報の種類		ハンドル振動/ピーブ音/ランブル音
車線逸脱警報の 強さ/音量の変更	ハンドル振動	強/弱
	ピーブ音量	大/小
	ランブル音量	大/中/小
アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート (アドバンスト SCBS) スマート・シティ・ブレーキ・サポート [後退時] (SCBS R) スマート・ブレーキ・サポート (SBS)		
作動/非作動*1		ON/OFF
衝突警報の作動距離		近い/中間/遠い
衝突警報音量		大/小/OFF
パーキングセンサー		
表示*3/非表示		ON/OFF

機能と変更内容	
360°ビュー・モニター	
電源ポジションを ON にしたときの 360°ビュー・モニターの自動表示	ON/OFF
予想進路線の表示/非表示	ON/OFF
後退後から前進する時に表示される、トップビュー/フロントビューの表示/非表示	ON/OFF

- *1 特段の理由がない限り、初期設定での使用を推奨します。
- *2 音量を変更できるのは、ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) 作動時の警報音のみです。リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) 作動時の警報音は音量を変更できません。
- *3 超音波センサーが障害物を検出すると 360°ビュー・モニターに切り替わります。(360°ビュー・モニター装備車)

車両装備

設定変更方法

1. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
2. タブを [車両装備] に切り替えて、設定を変更したいアイテムを選択します。

オートワイパー

機能と変更内容	
オートワイパー機能	
作動/非作動	ON/OFF*1

*1 オートワイパー機能を OFF に変更すると、ワイパーレバーの**AUTO**位置で間欠作動になります。

ドアロック

機能と変更内容	
電波式キーレスエントリーシステム	
自動的に施錠される時間	90 秒/60 秒/30 秒
車速感应式オートドアロック	
車速感应式オートドアロックの作動条件	<p>(マニュアル車) ロック：車速連動 アンロック：電源ポジション連動/ ロック：車速連動/ OFF</p> <p>(オートマチック車) ロック：セレクトレバー連動 アンロック：セレクトレバー連動/ ロック：セレクトレバー連動/ ロック：車速連動 アンロック：セレクトレバー連動/ ロック：車速連動 アンロック：電源ポジション連動/ ロック：車速連動/ OFF</p>
イルミネーテッドエントリーシステム	
ドアを閉めてからルームランプが消灯するまでの時間	60 秒/30 秒/15 秒/7.5 秒
ドアが確実に閉まっていないとき、ルームランプが自動的に消灯するまでの時間	60 分/30 分/10 分

ターン

機能と変更内容	
方向指示器	
ブザー音量	大/小
スリーフラッシュターンシグナル	
表示/非表示	ON/OFF

照明

機能と変更内容	
オートライト機能	
ランプが点灯するタイミング	早く/少し早く/標準/少し遅く/遅く
AFS (アダプティブフロントライティングシステム)	
作動/非作動*1	ON/OFF
ハイ・ビーム・コントロール・システム (HBC)	
作動/非作動*1	ON/OFF
アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH)	
作動/非作動*1	ON/OFF
ランプ消し忘れ防止チャイム	
警報チャイム音量	大/小/OFF
カミング・ホーム・ライト	
ヘッドランプが消灯するまでの時間	120 秒/90 秒/60 秒/30 秒/OFF
リーピング・ホーム・ライト	
作動/非作動	ON/OFF

機能と変更内容	
---------	--

アンビエントライト	
-----------	--

アンビエントライトの照度*2	明るい/ 中間/ 暗い/ OFF
----------------	------------------

*1 特段の理由がない限り、初期設定での使用を推奨します。

*2 車幅灯またはヘッドランプが点灯しているときの、アンビエントライトの照度を変更できます。


その他の装備・機能

アドバンストキーレスエントリー

キーによる施錠/解錠時のチャイム音量設定変更方法

1. 電源ポジションを OFF にして、すべてのドア、リアゲートを閉めます。
2. 運転席ドアを開けます。
3. 運転席ドアを開けてから、30 秒以内にキーのロックスイッチを 5 秒以上長押しします。すべてのドア、リアゲートが解錠され、現在設定されている音量でチャイムが鳴ります。(現在の設定がチャイムを鳴らないように設定している場合は鳴りません。) キーのロックスイッチを押すごとに設定が切り替わり、設定される音量でチャイムが鳴ります。(チャイムを鳴らないように設定した場合は鳴りません。)
4. 次のいずれかを行なって設定の変更を終了します。
 - ・ 電源ポジションを ACC か ON にする。
 - ・ 運転席ドアを閉める。
 - ・ リアゲートを開ける。
 - ・ 10 秒間キーの操作をしない。
 - ・ キーのロックスイッチ以外のスイッチを押す。
 - ・ リクエストスイッチを押す。


センターディスプレイによる設定変更方法

1. ホーム画面の  を選択して、設定画面を表示します。
2. タブを [車両装備] に切り替えます。
3. [ドアロック] を選択して、設定を変更したいアイテムを選択します。

機能と変更内容	
アドバンストキーレスエントリー	
自動的に施錠される時間	90 秒/60 秒/30 秒
オートロック機能の作動/非作動	ON/OFF
施錠/解錠時のチャイム音量	大/標準/小/OFF

アクティブ・ドライビング・ディスプレイ




センターディスプレイによる設定変更方法

1. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
2. タブを [AD-Disp] に切り替えて、設定を変更したいアイテムを選択します。

機能と変更内容	
アクティブ・ドライビング・ディスプレイ	
アクティブ・ドライビング・ディスプレイの表示/非表示	ON/OFF
表示の高さ (上下位置)	−13−0−+13 (計 27 ステップ)
表示の明るさを調節する方法	自動/手動
明るさの調節で、自動調節を選択したときの、基準の明るさ	−2−0−+2 (計 5 ステップ)
明るさの調節で、手動調節を選択したときの、基準の明るさ	−20−0−+20 (計 41 ステップ)
表示角度	−3−0−+3 (計 7 ステップ)
ナビゲーションガイダンスの表示/非表示	ON/OFF

燃費モニター




センターディスプレイによる設定変更方法

1. ホーム画面の  を選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. [燃費モニター] を選択します。
3.  を選択して、メニュー画面を表示します。
4. 画面の  を選択して、設定を変更したいアイテムを選択します。

機能と変更内容	
燃費モニター	
エンディングの表示/非表示	ON/OFF
燃費リセットとトリップメーター (TRIP A) のリセットの連動/非連動	ON/OFF

インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)


センターディスプレイによる設定変更方法



1. ホーム画面の  を選択して、アプリケーション画面を表示します。
2. [i-DM] を選択します。
3.  を選択して、メニュー画面を表示します。
4. メニュー画面の  を選択して、設定を変更したいアイテムを選択します。

機能と変更内容	
インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)	
インテリジェント・ドライブ・マスター・ランプの表示/非表示	ON/OFF
エンディングの表示/非表示	ON/OFF

画面

センターディスプレイによる設定変更方法

1. ホーム画面のを選択して、設定画面を表示します。
2. タブを [画面] に切り替えて、設定を変更したいアイテムを選択します。

機能と変更内容	
画面設定	
ディスプレイ OFF	ON/OFF
ディスプレイ OFF  時計表示	ON/OFF
モード (昼画面/夜画面)	自動/昼/夜
明るさ	—5—0—  5
コントラスト	—5—0—  5

ディスプレイ OFF

選択すると、画面が消灯します。

ディスプレイ OFF 時計表示

選択すると、画面が消灯して時計が表示されます。

自動/昼/夜

自動：ライトの点灯/消灯により昼画面と夜画面の表示が切り替わります。ただし、昼間にライトを点けたときなど、ライトセンサーが周辺が明るいと感知した場合は、昼画面表示になります。*1


昼：常に昼画面表示になります。

夜：常に夜画面表示になります。

*1 減光を解除しているときは常に昼画面になります。

音質

センターディスプレイによる設定変更方法

1. ホーム画面の  を選択して、設定画面を表示します。
2. タブを [サウンド] に切り替えて、設定を変更したいアイテムを選択します。

機能と変更内容	
音質	
Bass (低音調節)	<p style="text-align: center;">-6-0-+6</p> <p style="text-align: center;">(-側: 低音弱、 +側: 低音強)</p>
Treble (高音調節)	<p style="text-align: center;">-6-0-+6</p> <p style="text-align: center;">(-側: 高音弱、 +側: 高音強)</p>
Fade (前後音量調節)	<p>前側: フロントスピーカーの音量強調 後側: リアスピーカーの音量強調</p>
Balance (左右音量調節)	<p>右側: 右側スピーカーの音量強調 左側: 左側スピーカーの音量強調</p>
ガイダンス音量 (ナビゲーション画面のルート案内中のボリューム調整)	<p>右側: 音量大 左側: 音量小</p>
ALC*1 (自動音量調節)	<p style="text-align: center;">0-7</p> <p style="text-align: center;">(7 段階で感度調節)</p>
Bose Centerpoint*2 (バーチャルサラウンド)	ON/OFF
Bose AUDIOPILOT*2 (走行ノイズ補償システム)	ON/OFF
ビーブ音 (操作音設定)	ON/OFF

*1 ボーズサウンドシステム非装備車

*2 ボーズサウンドシステム装備車

ALC (自動音量調節)

オートマッチングレベルコントロール (ALC) は、車速に応じて自動的にオーディオの音量が変化する機能です。車速が早いほど変化量は大きくなり、車速が遅いほど変化量は小さくなります。

Bose Centerpoint (バーチャルサラウンド)

Centerpoint*3 は、Bose のサラウンドサウンドを体験させてくれます。

CD などのステレオ音源からサラウンドサウンドを再生させるために必要な設定になっています。

さらに改善されたアルゴリズムによって、幅のある広々とした音場を作り出しています。

Bose AUDIOPILOT (走行ノイズ補償システム)

運転するときに発生するノイズは、音楽の邪魔になります。

AUDIOPILOT*4 ノイズ補正システムは、走行ノイズと車両速度によるノイズに対して音楽を常に補正します。


改善された DSP アルゴリズムは、悪路や高速走行の状況に、より素早く効果的な補正を可能にします。

*1 Centerpoint はボーズコーポレーションの登録商標です。

*2 AUDIOPILOT はボーズコーポレーションの登録商標です。

時計


センターディスプレイによる設定変更方法

1. ホーム画面の  を選択して、設定画面を表示します。
2. タブを [時計] に切り替えて、設定を変更したいアイテムを選択します。

機能と変更内容	
時計	
時刻設定	GPS 同期 OFF 時に、時刻を変更します。 + を選択すると時間/分が進み、- を選択すると時間/分がもどります。 12h 表示のときのみ、AM/PM の選択ができます。
GPS 同期	ON/OFF
時刻表示	12h/24h
タイムゾーン	GPS 同期 OFF の時に、指定したい地域を選択できます。

通信


センターディスプレイによる設定変更方法

1. ホーム画面の  を選択して、設定画面を表示します。
2. タブを [通信] に切り替えて、設定を変更したいアイテムを選択します。

機能と変更内容	
通信	
Bluetooth®	Bluetooth®機器の登録（ペアリング）や削除などができます。
Apple CarPlay	<p>(Apple CarPlay がワイヤレス接続非対応の場合) iPhone を接続したときに Apple CarPlay 接続をするかどうかを設定することができます。設定を反映するには、iPhone を接続し直す必要があります。iPhone が未接続の場合は、グレーで表示され選択できません。</p> <p>(Apple CarPlay がワイヤレス接続対応の場合) Apple CarPlay に登録された機器一覧を表示します。機器の登録や編集ができます。</p>
Android Auto	<p>Android™スマートフォンを接続したときに Android Auto™モード接続をするかどうかを設定することができます。設定は、ON/OFF を切り替えるとすぐに反映されます。</p> <p>Android™スマートフォンが未接続の場合は、グレーで表示され選択できません。</p>
Wi-Fi	<p>Wi-Fi™は、Apple CarPlay をワイヤレス接続するときに使用します。</p> <p> 知識</p> <p>(Apple CarPlay がワイヤレス接続対応の場合) Apple CarPlay を USB 接続のみで使用する場合は、Wi-Fi™の設定を OFF にしてください。</p>

Bluetooth®の ON/OFF

Bluetooth®接続を使用するには、Bluetooth®設定を ON にします。チェック状態が ON、チェックが外れた状態は OFF となります。

1. ホーム画面の  を選択して、設定画面を表示します。
2. **通信** タブを選択します。



3. **Bluetooth** を選択します。
4. Bluetooth®設定画面が表示されます。



チェックが外れていると
OFF の状態です。


機器の登録 (ペアリング)

Bluetooth®オーディオとハンズフリーを使用するには、次の手順で Bluetooth®機器を登録します。Bluetooth®通信機能のあるポータブルオーディオ機器、または携帯電話を 7 個まで登録することができます。

知識

Bluetooth®は、電源ポジションを ACC、または ON に切り替えた後、1~2 分間操作できない場合がありますが異常ではありません。1~2 分経過後も Bluetooth®機器が自動接続されない場合は、Bluetooth®機器の Bluetooth®設定が正常であることを確認のうえ、車両側から Bluetooth®機器に再接続を試みてください。

(ペアリング手順)

1. ホーム画面の  を選択して、設定画面を表示します。
2. **通信** タブを選択します。



3. **Bluetooth** を選択します。
4. (OFF の場合) **Bluetooth** を選択して ON にします。



5. **新規機器の登録** を選択して、手順 6 のメッセージを表示させます。



6. このメッセージが表示されている間に、Bluetooth®機器を操作して、Bluetooth®機器を検索します。



7. [Bluetooth®機器での操作]
Bluetooth®機器の検索結果の機器一覧に表示された「Mazda」を選択します。
(Bluetooth®機器が Bluetooth®バージョン 2.0 以前の機器の場合)
[Bluetooth®機器での操作]
センターディスプレイに表示された 4 桁のペアリングコードを Bluetooth®機器に入力します。

(Bluetooth®機器が Bluetooth®バージョン 2.1 以上の場合)

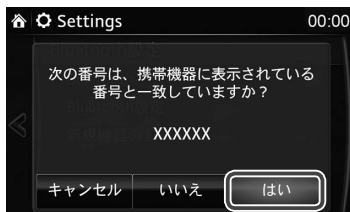
[Bluetooth®機器での操作]

センターディスプレイに表示された 6 桁のコードが Bluetooth®機器にも表示されていることを確

認し、**はい** を選択します。

[本機での操作]

Bluetooth®機器に表示された 6 桁のコードがセンターディスプレイに表示されていれば、**はい** を選択します。



7

知識

- ・ Bluetooth®機器が電話帳インポートやショートメッセージ機能に対応している場合は、電話帳や通話履歴、ショートメッセージ (SMS) がダウンロードされます。
- ・ 電話帳インポートやショートメッセージ機能の動作には、Bluetooth®機器でダウンロード許可操作を実行する必要がある場合があります。
- ・ **Bluetooth®機器の Bluetooth®接続については、Bluetooth®機器の取扱書を必ず参照してください。**

(ペアリングと自動再接続について)

ペアリングが完了すると、次回のシステム起動時に、前回の Bluetooth®接続を自動的に復元しようとします。Bluetooth®ハンズフリー機能を ON、または電源ポジションを OFF から ACC に切り替えると、機器の接続状態がセンターディスプレイに表示されます。


知識

- ・ 同じ Bluetooth®機器のペアリングをやり直す場合は、Bluetooth®機器から「Mazda」を一度削除する必要があります。
- ・ Bluetooth®機器と車両のペアリング情報をどちらか一方で削除した場合、ペアリング相手側も一旦登録を削除し、再度ペアリングする必要があります。
- ・ システム起動時の Bluetooth®自動接続は Bluetooth®機器が接続可能な状態である必要があります。
- ・ ペアリングする前に、機器と車両の両方の Bluetooth®の設定が ON になっていることを確認してください。

Bluetooth®機器の選択

複数の Bluetooth®機器をペアリングしているときは、接続する Bluetooth®を選択することができます。他のペアリング済み Bluetooth®機器と接続したいときは、次の手順で Bluetooth®機器の接続を変更します。

(他の Bluetooth®機器を接続する)

1. ホーム画面の  を選択して、設定画面を表示します。
2. **通信** タブを選択します。



3. **Bluetooth** を選択します。
4. 接続したい機器の名前を選択します。



5. 接続方法を選択します。



電話とオーディオ を選択

ハンズフリーと Bluetooth®オーディオ両方の機器として接続します。

電話のみ を選択

ハンズフリー機器として接続します。

オーディオのみ を選択

Bluetooth®オーディオとして接続します。

知識

ハンズフリー、またはオーディオは、次の機能を使用することができます。

- ・ハンズフリー→2-98 ページ「Bluetooth®ハンズフリー」
- ・オーディオ: Bluetooth®オーディオ→2-53 ページ「Bluetooth® Aha™→2-88 ページ「Aha™」
Stitcher™ラジオ→2-92 ページ「Stitcher™ラジオ」
- ・システム起動時の Bluetooth®自動接続では、Bluetooth®機器側の要求が優先されるため、[電話のみ]や[オーディオのみ]を本機で選択していても、[電話とオーディオ]として接続される場合があります。

(Bluetooth®機器との接続を切断する)

1. ホーム画面の  を選択して、設定画面を表示します。

2. **通信** タブを選択します。

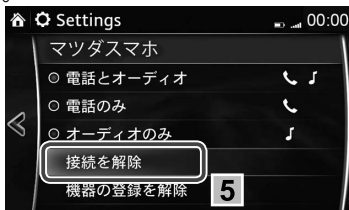


3. **Bluetooth** を選択します。

4. 現在接続している機器の名前を選択します。



5. **接続を解除** を選択します。




 知識

Bluetooth®設定で Bluetooth®を OFF にしても接続を切断できません。
→「Bluetooth®の ON/OFF」

Bluetooth®機器を削除する

(ペアリング済み Bluetooth®機器を指定して削除するとき)

1. ホーム画面の  を選択して、設定画面を表示します。
2. **通信** タブを選択します。



3. **Bluetooth** を選択します。
4. (OFF の場合) **Bluetooth** を選択して ON にします。



5. 削除したい機器の名前を選択します。
6. **機器の登録を解除** を選択します。




7. 確認画面で「はい」を選択します。



知識

- ・ Bluetooth®機器の登録を削除すると、削除した Bluetooth®機器の電話帳や通話履歴、ショートメッセージも削除されます。
- ・ Bluetooth®機器の登録を削除した場合、Bluetooth®機器でも「Mazda」を削除してください。

(全ての機器を削除するとき)

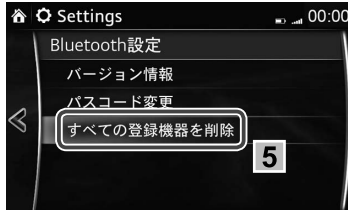
1. ホーム画面の  を選択して、設定画面を表示します。
2. 「通信」タブを選択します。



3. 「Bluetooth」を選択します。
4. 「Bluetooth設定」を選択します。



5. **すべての登録機器を削除**を選択します。



6. 確認画面で**はい**を選択します。



知識

- ・ Bluetooth®機器の登録を削除すると、削除した Bluetooth®機器の電話帳や通話履歴、ショートメッセージも削除されます。
- ・ Bluetooth®機器の登録を削除した場合、Bluetooth®機器でも「Mazda」を削除してください。

パスコードを変更する

ペアリングする Bluetooth®機器のバージョンが 2.0 以前の場合は、マツダ車両で設定しておいた 4 桁のパスコードを入力してペアリングします。4 桁のパスコードは、次の手順で変更できます。

1. ホーム画面の **設定** を選択して、設定画面を表示します。
2. **通信** タブを選択します。

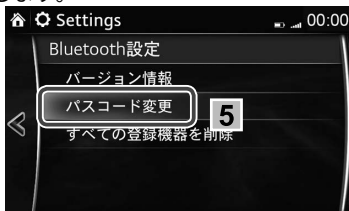


3. **Bluetooth** を選択します。

4. Bluetooth設定を選択します。



5. パスコード変更を選択します。



6. 新しいパスコードを入力します。




7. ✓を選択します。

📖 知識

パスコードを変更しても、ペアリング済みの Bluetooth®機器の接続には影響ありません。

各システム

センターディスプレイによる設定変更方法

1. ホーム画面の  を選択して、設定画面を表示します。
2. タブを [システム] に切り替えて、設定を変更したいアイテムを選択します。

機能と変更内容		
システム設定/情報		
ボタン説明の表示/非表示	ON/OFF	
ミュージックデータベース更新	Gracenote®を更新します。USB オーディオや Bluetooth®オーディオとともに使用されます。 ・音楽情報の補足(曲名、アーティスト名など) ・音楽認識によるアーティスト再生、アルバム再生の補助	
工場出荷時の状態にリセット	音質設定以外の設定が初期化されます。 <input type="checkbox"/> はい を選択すると初期化が実行されます。	
システム情報	免責事項	免責事項を確認できます。
	バージョン情報	オーディオユニットの OS バージョンと Gracenote® データベースバージョンを確認することができます。
言語*1	表示言語を切り替えます。	

*1 センターディスプレイの言語表示のみ変更できます。

リアウインドーデフォグガー (曇り取り)

リアウインドーデフォグガーの設定を変更する場合は、マツダ販売店にご相談ください。

機能と変更内容	
リアウインドーデフォグガー (曇り取り)	
作動時間	15分/連続*1

*1 リアウインドーデフォグガー (曇り取り)の作動時間を連続に変更しても、外気温の影響により 15分 で作動を停止する場合があります。

MEMO



3

トラブル

トラブルシューティング.....	3-2
トラブルシューティング.....	3-2

トラブルシューティング

Apple CarPlay の使用に関する問題

問題	原因	解決方法
USB 端子に Apple 純正の接続コードを差し込み iPhone を接続したが、Apple CarPlay が起動できない	間違った USB 端子を使用している。	Apple CarPlay を起動するときには、  の印字がある USB 端子 (USB1) を使用してください。
iPhone を USB 端子に接続後、“携帯機器エラー”のメッセージが表示された	マツダコネクと iPhone 間の通信に失敗している。	一度 USB 端子から接続コードを取り外し、再度接続を試みてください。
使用したいアプリケーションのアイコンが Apple CarPlay のホーム画面に表示されない	Apple CarPlay に対応しているアプリケーションのみ画面に表示されます。	アプリケーションの提供元にお問い合わせください。
Siri が音声コマンドや連絡先をうまく認識しない、誤認識する	考えられる原因は次の通りです。 1. ネットワークの接続不良 2. ロードノイズ/エアコンの風の音	次の方法を試して解決しない場合は、Apple のサポートサイトをご確認いただくか、Apple 社にお問い合わせください。 1. 一度、ハングアップボタン  を押して Siri を終了してください。 再度 Siri を使用する場合は、ネットワーク接続が良好になるまでお待ちください。 2. 大きくはっきりと話すと同認識率は向上します。
Bluetooth®オーディオと Apple CarPlay とで音量に差がある	—	Bluetooth®オーディオの音量をご確認ください。Bluetooth®オーディオは、機器側で音量を調節できるものがあります。


問題	原因	解決方法
<p>ワイヤレス CarPlay に接続しない。</p>	<p>考えられる原因は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iPhone の設定が解除されている ・ iPhone が USB ポートに接続し、音楽再生中である 	<p>次の手順でワイヤレス接続を実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. iPhone の設定(Wi-Fi™設定/Apple CarPlay 設定/Bluetooth®設定)を確認してください。 <p> 知識</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>次の方法で操作します。 設定メニュー→一般→CarPlay→Mazda 車の CarPlay 設定</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 2. iPhone を選択して手動で接続してください。接続できない場合は、再度、機器の登録を行なってください。 →2-13 ページ「Apple CarPlay」
<p>エンターテインメントソースが Apple CarPlay に切り替わった。</p>	<p>Apple CarPlay 接続している iPhone を操作すると、音声は Apple CarPlay に切り替わることがあります。</p>	<p>iPhone を操作する際、エンターテインメントソースを Apple CarPlay 以外にしておきたい場合は、Apple CarPlay を一旦切断してください。 →2-13 ページ「Apple CarPlay」</p>
<p>iPhone の Wi-Fi 機能が使用できない。</p>	<p>iPhone が Apple CarPlay にワイヤレス接続している。</p>	<p>オーディオユニットまたは iPhone の設定で、Apple CarPlay のワイヤレス接続を解除してください。 →2-13 ページ「Apple CarPlay」</p>

問題	原因	解決方法
iPhone を USB 抜いても CarPlay が切断されない。	iPhone の接続状態によっては、USB ケーブルを接続していても、ワイヤレスで接続されることがあります。	オーディオユニットまたは iPhone の設定で、Apple CarPlay のワイヤレス接続を解除してください。 →2-13 ページ「Apple CarPlay」
音声が聞こえなくなった。	Apple CarPlay で音楽を再生中にワイヤレス接続が切れると、音源が選択されていない状態になり、車両のオーディオ機器が無音になります。	エンターテイメントメニューから、オーディオを選択してください。

iPhone の使用に関する問題

問題	原因	解決方法
iPhone を Apple CarPlay で使用せず、Bluetooth®オーディオ機器として使用する場合に、スムーズに再生しない。	iPhone が Apple CarPlay 接続を試みている。	Apple CarPlay を使用しない場合は、オーディオユニットまたは iPhone の設定で、Apple CarPlay のワイヤレス接続を解除してください。 →2-13 ページ「Apple CarPlay」
iPhone を Bluetooth®オーディオ機器として使用する際、意図せず Apple CarPlay 接続に切り替わる。	iPhone が Apple CarPlay に接続している。	Apple CarPlay™を使用しない場合は、オーディオユニットまたは iPhone の設定で、Apple CarPlay のワイヤレス接続を解除してください。 →2-13 ページ「Apple CarPlay」

Android Auto™の使用に関する問題

問題	原因	解決方法
USB 端子に Android™純正の接続コードを差し込み Android™スマートフォンを接続したが、Android Auto™モードが起動できない	Android™スマートフォンに Android Auto™アプリケーションがダウンロードされていない。	車両で Android Auto™を操作するためには、Android™スマートフォン内に Android Auto™アプリケーションが必要です。Android Auto™アプリケーションは Google Play™からダウンロードしてください。
	間違った USB 端子を使用している。	Android Auto™モードを起動するときは、  の印字がある USB 端子(USB1)を使用してください。
Android™スマートフォンを USB 端子に接続後、“携帯機器エラー”のメッセージが表示された	マツダコネクと Android™スマートフォン間の通信に失敗している。	一度 USB 端子から接続コードを取り外し、再度接続を試みてください。
	他の機器が Bluetooth®接続しているため、Android™スマートフォンとペアリングができていない。	他の機器の Bluetooth®接続を切断し、一度 USB 端子から接続コードを取りはずしてから再度接続してください。
使用したいアプリケーションのアイコンが Android Auto™モードのホーム画面に表示されない	Android Auto に対応しているアプリケーションのみ画面に表示されます。	アプリケーションの提供元にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> ・音声認識がうまくいかない、誤認識する ・音声認識の反応が遅い、または動かない 	—	音声認識による操作が難しい場合は、Android Auto™のサポートサイトをご確認いただくか、Google 社にお問い合わせください。
Bluetooth®オーディオと Android Auto™とで音量に差がある	—	Bluetooth®オーディオの音量をご確認ください。Bluetooth®オーディオは、機器側で音量を調節できるものがあります。

問題	原因	解決方法
ワイヤレス CarPlay 接続から Android Auto 接続に切り替えができない。	考えられる原因は次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Android™スマートフォンが充電のみのモードで接続されている ・ ワイヤレス Carplay と競合している 	次のいずれかの方法で、Android Auto™への接続を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ファイル転送モードにして、再度接続を試みる →2-20 ページ「Android Auto™」 ・ Apple CarPlay のワイヤレス接続を切断してから、再度接続を試みる →2-13 ページ「Apple CarPlay」

Bluetooth®機器ペアリング、接続に関する問題

- ・ Bluetooth®は、使用する Bluetooth®機器の設定によっても動作が変化します。
- ・ 正常に使用できなくなった場合は Bluetooth®機器の取扱書も参照してください。
- ・ 本機で動作確認済み機種は、マツダコネクトサポートページで情報公開しています。

問題	原因	解決方法
ペアリングができない	—	Bluetooth®機器がマツダコネクトに対応しているか web サイトで確認してください。 Bluetooth®機器の設定で Bluetooth®と Find Mode*1 が ON になっているのを確認してください。また、機内モードになっていないことを確認してください。Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にしてください。あるいは、Bluetooth®機器側から接続操作を試みてください。その後ペアリングを行ってもペアリングできない場合は、マツダ販売店にご相談ください。

問題	原因	解決方法
再ペアリングできない	本機または Bluetooth®機器に登録されているペアリング情報を誤認識している。	<p>次の手順でペアリングを実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マツダコネクト上で対象の Bluetooth®機器を消去する。 2. Bluetooth®機器の Bluetooth®検索画面から「Mazda」を消去する。 3. 再度ペアリングを行なう。 <p>上記手順でもペアリングできないときは、Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。それでもペアリングできない場合は、マツダ販売店にご相談ください。</p>
自動接続するまでに時間がかかる	ペアリングしている Bluetooth®機器が多い。	<p>使用していない Bluetooth®機器のペアリング情報を削除してください。</p> <p>上記対応をしても自動接続に時間がかかる場合は、Bluetooth®機器を選択して手動で接続してください。</p>
自動接続していたが、突然自動接続しなくなった	Bluetooth®機器によっては、Bluetooth®や FindMode*1 が時間経過により自動で OFF になる場合があります。	Bluetooth®と FindMode*1 が ON になっている事を確認し、再度接続してください。Bluetooth®機器の電源を一度 OFF にし、再度 ON にします。

問題	原因	解決方法
エンジン始動で自動接続しない	Bluetooth®機器のOSがアップデートされた際に、登録されているペアリング情報が更新されている。	<p>次の手順でペアリングを実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マツダコネクト上で対象のBluetooth®機器を消去する。 2. Bluetooth®機器のBluetooth®検索画面から「Mazda」を消去する。 3. 再度ペアリングを行なう。上記手順でもペアリングできないときは、Bluetooth®機器の電源を一度OFFにし、再度ONにします。それでもペアリングできない場合は、マツダ販売店にご相談ください。
	Bluetooth®機器によっては、Bluetooth®やFindMode*1が時間経過により自動でOFFになる場合があります。	Bluetooth®とFindMode*1がONになっている事を確認し、再度接続してください。Bluetooth®機器の電源を一度OFFにし、再度ONにします。
接続が途切れる	Bluetooth®機器を後部座席のカバンの中やズボンの後ろポケットの中等、電波が遮断されやすい場所に置いていませんか？	Bluetooth®機器を電波が遮断されにくい場所から移動させてください。Bluetooth®機器の電源を一度OFFにし、再度ONにします。

*1 Bluetooth®機器の存在が、外から検知されるようにするための設定

音声認識に関する問題

問題	原因	解決方法
<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声認識がうまくいかない ・ 数値を誤認識しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し方がゆっくりすぎませんか？ ・ 話し方が強すぎませんか？ (怒鳴っていませんか？) ・ ビープ音が鳴り終わる前に話していませんか？ ・ マイクにエアコンの風などが当たっていませんか？ ・ 標準でない表現(方言など)で話していませんか？ 	<p>左の項目に注意して話してください。また、数値を連続して話す場合、数値間に間を置かずにつなげて話すと認識率は向上します。</p> <p>Bluetooth®機器の電源を一度OFFにし、再度ONにします。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイクに不具合がある。 	<p>マイクの接続不良や故障が考えられます。マツダ販売店にご相談ください。</p>
<p>電話帳の名前をうまく認識しない</p>	<p>Bluetooth®システムが認識しにくい状態になっています。</p>	<p>次の対応を行っていただくと、認識率が向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話帳からあまり使わない連絡先を削除する。 ・ 短い名前を避け、長い名前を適用する。 (名前は長いほど認識率が上がります。「ママ」や「パパ」などの短い文言は避けていただくと認識しやすくなります)
	<p>Bluetooth®機器の接続に問題がある。</p>	<p>ペアリングの状態を確認し、接続に問題がある場合は、本項目の「Bluetooth®機器ペアリング、接続に関する問題」を確認してください。</p>
	<p>電話帳にふりがな情報が登録されていない。</p>	<p>機器の電話帳にふりがな情報を追加し、電話帳を再ダウンロードしてください。</p>
<p>ガイダンスをスキップしたい</p>	—	<p>トークボタンを押すことにより、ガイダンスはいつでもスキップできます。</p>

電話に関する問題

問題	原因	解決方法
通話開始時、通話相手に車両のノイズが聞こえる	通話開始から約3秒間は、Bluetooth®ユニットのノイズ抑制機能が通話環境の適応に時間が必要な為、通話相手にノイズが聞こえ、声が通りにくい事があります。	Bluetooth®機器に問題はありません。
相手の声が聞こえない/小さい	ボリュームがゼロ、または小さくなっていませんか？	通話音量を上げてください。
電話がかかってこない	コミュニケーション設定の「着信通知」をオフにしていますか？	「着信通知」をオンにしてください。

その他の問題

問題	原因	解決方法
Bluetooth®機器に表示されるバッテリーの残量と、車両に表示されるバッテリーの残量が異なる	Bluetooth®機器からの、残量値情報と本機の表示スケールにずれがあるためです。	解決方法はありません。
車両で通話を実行時、着信/発信履歴が電話番号で更新されるが、名前が出ない	電話帳に通話相手先が登録されていません。	番号が電話帳に登録されている場合、エンジンを再始動すると、電話帳の名前で着信/発信履歴が更新されます。
着信/発信履歴が Bluetooth®機器と車両間で同期しない	Bluetooth®機器によっては、エンジン始動後に、着信/発信履歴をダウンロードすることがあります。	Bluetooth®機器を操作する必要があります。Bluetooth®機器の取扱書を参照してください。

4

さくいん

A

Aha™	2-88
Android Auto™	2-20
Apple CarPlay	2-13
AUX	2-85

B

Bluetooth®	2-53
Bluetooth® ハンズフリー	2-98

C

CD	2-67
----	------

D

DVD	2-73
-----	------

I

i-DM	2-2
------	-----

S

Stitcher™ラジオ	2-92
--------------	------

U

USB	2-58
-----	------

あ

アプリケーション	2-2
Android Auto™	2-20
Apple CarPlay	2-13
i-DM	2-2
車両ステータスマニター	2-10
燃費モニター	2-6

え

エンターテイメント	2-25
Aha™	2-88
AUX	2-85
Bluetooth®	2-53
CD	2-67
DVD	2-73
Stitcher™ラジオ	2-92
USB	2-58

テレビ	2-47
ラジオ	2-38

お

オーディオリモートコントロールスイッチによる操作	1-10
音声認識機能による操作	1-12

き

基本操作	1-5
オーディオリモートコントロールスイッチによる操作	1-10
音声認識機能による操作	1-12
コマンドースイッチによる操作	1-8
タッチパネルによる操作	1-6

こ

コマンドースイッチによる操作	1-8
コミュニケーション	2-97
Bluetooth® ハンズフリー	2-98

し

車両ステータスマニター	2-10
-------------	------

た

タッチパネルによる操作	1-6
-------------	-----

て

テレビ	2-47
-----	------

と

トラブルシューティング	3-2
-------------	-----

な

ナビゲーション	2-121
---------	-------

ね

燃費モニター	2-6
--------	-----

ま

マツダコネクトとは?	1-2
------------	-----

マツダコネクトをご使用の前に..... 1-15

ら

ラジオ..... 2-38

